

生駒市立病院新改革プラン

平成30年11月30日

生 駒 市

新改革プラン策定にあたって

生駒市立病院(以下、「市立病院」という。)は、平成27年6月の開院から平成30年6月で、丸3年が経過し、常勤医師数や小児二次輪番への参加など生駒市病院事業計画に掲げる医療提供体制が十分に整備されている状態に達していませんが、経営的には徐々にですが軌道に乗りつつあります。

市立病院の業務については、平成21年度に策定された生駒市病院事業計画(以下、「計画」という。)に従って実施するものですが、これまでに幾度かの一部改正を経て、平成27年11月改定版が現行の計画となります。

当初の計画の策定以後、超高齢化の進展、医療技術の向上、医療制度改革等の社会情勢等の変動もあり、国、県の地域医療を取り巻く状況や方向性、住民ニーズ等も変わってきており、奈良県においては、平成28年3月に奈良県地域医療構想が、平成30年3月には、第7次奈良県保健医療計画が策定され、本市においても、このような状況の変化に計画が対応できているのか検証していく必要があります。

また、生駒市病院事業の設置等に関する条例(以下、「条例」という。)第4条第3項には、「継続的に病院事業が改善されるよう、少なくとも3年ごとに病院事業計画を見直さなければならない」と規定されており、平成30年度が現行の計画の見直しの時期になります。

そこで、このたび、市立病院の開院からの3年間を総括し、計画がどの程度実現・達成されたかの検証を行うとともに、計画策定以後に策定された奈良県地域医療構想に沿って、本市の地域医療の現況等を調査し、計画の基本方針がその方向性に整合したものになっているかについて併せて検証することで、計画内容の改定が必要であるかどうかについて見直しを行いました。

なお、当該見直しに際しては、条例で定められている生駒市病院事業推進委員会(平成30年11月21日に開催した第22回会議)に協議させていただき、協議の結果、病院事業推進委員会として、「現行の計画は奈良県地域医療構想の基本的な視点に沿っており、計画を変更するまでもなく、地域医療の充実を図るため引き続き現行の計画の実現に向けて取組みを進めていく」ことで、意見を取りまとめられましたことから、本市としても、当該意見を尊重し、計画の変更はせず、現行計画を引き続き進めることとなりました。

市立病院においては、基本計画である生駒市病院事業計画が「新公立病院改革プラン」に相当するものであり、このたびの見直し結果をもって、現行計画を「生駒市立病院新改革プラン」として位置づけて、本市の病院事業を推進していくものです。

生駒市病院事業計画

平成27年11月改定

平成30年11月改版

目 次

1	病院事業の基本方針	1
2	診療科目、各診療科目の病床数及び診療方針	4
3	人員体制及び医療従事者の確保の方法	5
4	救急に対する取組	7
5	医療における安全管理に対する取組	9
6	地域医療の支援に対する取組	10
7	病院事業の運営に関する情報の開示及び広報	12
8	病院の施設及び附属設備の整備	13
9	今後10年間における病院事業の収支の見通し	16

1 病院事業の基本方針

(1) 新病院建設の必要性

旧生駒総合病院については、奈良県国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」という。）が、国民健康保険被保険者の受診機会の確保の観点から、昭和25年4月から平成17年3月まで長年にわたり生駒の地で病院運営をしており、市内はおろか県北西部地域の中核病院として地域住民の医療ニーズに対応できる身近な病院として又、一般救急告示、北和小児科二次救急輪番病院としての地域医療の一翼を担っておりました。しかし、病院施設・設備の老朽化が深刻な状況等から今後の病院運営について検討するべく、国保連合会に設置された「生駒総合病院の運営に関する検討委員会」から、国保被保険者の受診者の確保という当初の目的はすでに達成され、その使命は終えたことから、国保連合会が今後も病院運営を継続することは適当でないが、生駒市民を中心に多くの患者に利用されていること、一般救急・小児救急医療に貢献していること等、医療機関として存続すべき必要性を認める提言が出され、移譲による存続を模索されましたが、結果的に平成17年3月31日をもって閉院されました。

その間、延べ30,934筆の生駒総合病院の存続及び新病院建設を要望する署名簿や6回にわたり生駒市医師会から新病院建設についての要望書が提出されました。

これらのことから、本市としては、地域医療の拠点がなくなった状況を早期に解消すべく、「生駒総合病院後医療に関する検討委員会」を平成17年12月に設置し、市内の医療の現状と地域の病院の運営状況等を調査分析した上で、旧生駒総合病院閉院により明らかに欠落した地域の救急医療体制の確保とその基盤となる二次医療機能確保への医療機関の再構築、すなわち、新病院の必要性をうたった「生駒総合病院後医療に関する提言書」を受けました。

さらに、当該提言書を具現化することを目的として、平成18年11月に設置しました「生駒市新病院整備専門委員会」において、市民及び市内医療機関へのアンケート調査を実施し、その結果、新病院についての高いニーズが改めて明確になり、このことを踏まえ、新病院における医療機能等を「中間答申」として当該委員会から提言を受けました。

また、「中間答申」提言後も、市民グループが本市の新病院計画につい

て広く市民に理解を深めてもらうことを目的に、市民集会を開催（平成20年8月3日、平成21年2月1日）し、多くの市民が参加しました。

さらに、本年1月からは、市民グループ4団体による本市立病院の開設を求める署名実行委員会が新病院の早期開設を求めて署名活動を開始し、24,217筆の署名と要望書を県知事及び県医療審議会会長に提出されました。

現在、市内には小児科の二次医療を担う病院が不足し、また、奈良県北和小児科二次輪番制に参加する市内病院もない状況にあり、小児科の二次医療は市外の病院に依存しています。また、一部市内病院において小児科二次医療の実施を含む増床計画が進められており、問題点の改善が期待されるものの、さらなる充実が求められています。

また、市内の内科系及び外科系の二次救急医療においては、奈良市内の近隣病院を加えた5病院により二次救急輪番体制が整えられているものの、照会回数が多く、救急搬送に多くの時間を要することとなっています。このことから、より緊急性、迅速性等を要する二次救急医療の体制強化が必要であり、二次救急医療に確実に対応できる病院の確保が求められています。

（2）新病院のコンセプト

① 質の高い医療の提供

生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。

② 地域完結型の医療体制構築への寄与

地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。

③ 救急医療の充実

本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。

④ 小児医療の充実

本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。

⑤ 災害時医療の確保

大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確

保する。

⑥ 予防医療の啓発

市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。

⑦ 財政的に健全な病院経営

新病院の運営形態については、「指定管理者方式」を採用することで、医療機関が有する経営ノウハウを活用し経営の効率化を図り、財政的に健全な病院経営を行う。

⑧ 市民参加による運営

条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。

⑨ 環境に配慮した運営

新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである I S O (国際標準化機構) 1 4 0 0 0 シリーズの認証取得を目指す。

(3) 新病院の病床規模

新病院の病床規模は、地域完結型の医療、救急医療の充実、小児科医療の充実、財政的に健全な病院経営を実現するため、現在、西和保健医療圏で利用可能な病床数 2 1 0 床とします。

(4) 新病院の開設場所

立地条件的にも交通の利便性に優れている近鉄東生駒駅前の約 5, 5 0 0 m²の土地を賃借の方法により、開設場所とします。

以上のとおり、旧生駒総合病院の後継病院として、生駒市内をはじめ、西和保健医療圏内における二次救急医療等の不足医療に対応できる公立病院を開設することにより、地域社会の医療向上を図るとともに保健行政や福祉行政との連携等市行政サービスの全般的な視点に立った医療行政の実現を目指します。

2 診療科目、各診療科目の病床数及び診療方針

(1) 診療科目

次の14診療科を設置します。

内科	消化器内科	循環器内科	外科	脳神経外科
整形外科	形成外科	小児科	腎臓泌尿器科	産婦人科
リハビリテーション科	放射線科	救急科	麻酔科	

上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。

(2) 各診療科目の病床数

診療領域での病床配分は、次のとおりとします。

I C U	7床
小児科	20床
産婦人科	20床
内科系	79床
外科系	84床

(3) 診療方針

新病院の診療方針については、地域医療における市立病院の役割を果たしていくべく、医療法人徳洲会を指定管理者として、本市と連携を密にとりながら、地域の医師会及び病院・診療所とも連携しながら、「生駒総合病院後医療に関する提言書」（平成18年3月28日）及び「生駒市新病院整備専門委員会の中間答申」（平成19年1月13日）の趣旨を遵守し、地域で欠落する医療機能の優先的な充足を目指します。

具体的な診療方針として、次の項目については次項以下で詳述します。

- 人員体制及び医療従事者の確保の方法
- 救急に対する取組
- 医療における安全管理に対する取組
- 地域医療の支援に対する取組
- 病院事業の運営に関する情報の開示及び広報

3 人員体制及び医療従事者の確保の方法

(1) 人員体制

人員体制については、開院当初は、1日平均想定患者数(外来300名、入院140名と仮定)による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。

職 種	人 数	備 考
医師	25名	小児科2名、産婦人科3名、一般内科4名、循環器内科2名、消化器内科1名、放射線科1名、一般外科3名、脳神経外科2名、整形外科2名、リハビリテーション科1名、麻酔科1名、形成外科1名、腎臓泌尿器科1名、救急科1名
看護師	80名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 准看護師含む。 ・ 外来部門30名、入院部門50名 ・ 助産師は、看護師の中で助産師の有資格者を産婦人科に専任で配置(6名)
薬剤師	6名	
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	3名	
放射線技師	6名	
検査技師	7名	
栄養士	2名	
看護助手	29名	
事務職員他	40名	
合 計	198名	

ただし、診療科を追加する場合、上記の人員体制については、指定管理者と協議し、変更できるものとします。

また、開院後においては、以後の医療ニーズの変化等に適切に対応していくべく、近隣グループ病院等からの協力も得ながら、順次、非常勤職員も含めた増員や人員配置を図ります。

(2) 医療従事者の確保の方法について

(小児科・産婦人科医師の確保計画)

- ① 指定管理者のグループ医療機関との人事異動等による全面的協力体制を組みます。
- ② 当病院勤務希望者を公募します。

(救急に対応する医師の確保計画)

- ① 開院当初に救急専門医を確保することは厳しいですが、離島・へき地・山間部等に勤務経験の豊富な医師が指定管理者のグループ医療機関には多く勤務しており、一次救急は問題なく対応可能です。
- ② 救急部(ER)にて救急医を育成している指定管理者のグループ医療機関からの異動で救急に対応する医師の確保を行います。

(看護師の募集方法や確保計画)

- ① 看護部長・看護師長については指定管理者のグループに属する他の医療機関から転籍異動を行います。
- ② 指定管理者に属するグループ医療機関に勤務する看護師のうち、生駒市出身者も含め、広く当病院への勤務希望者を募集します。
- ③ 公募採用を行います。ただし、市内既存医療機関・施設からの引抜きはいたしません。

4 救急に対する取組

(1) 救急医療体制について

新病院については、市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24時間体制での救急受け入れをします。

具体的な体制としては、次のとおりとします。

診療分野	稼働内容	稼働回数 (1月当たり)
内科系・外科系	市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回 外科系 5回
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回
	休日夜間応急診療所のバックアップ (休日夜間の一次救急)	10回(※1)
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回

(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は22:00～24:00の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は20時から24時までは総合診療医を配置します。

ただし、開院後3年を目途に小児科医師を1名増員することで小児救急の充実を図ります。

(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合はNICUを有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。

(2) 救急に対する人員体制について

医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。

具体的な体制としては、次のとおりとします。

	人員体制
通常時	内科系・外科系医師各1名、検査技師・放射線技師・薬剤師各1名の当直体制
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制+小児科医師1名の当直
休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日	通常時当直体制+総合診療医1名を20時～24時の間で配置
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制+産婦人科医1名の当直

(3) 救急についての診療科毎の対応レベルについて

診療科	対応レベル
内科（二次輪番）	諸検査（CT・MRI・X線・血液等）及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可（例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能）
外科・整形外科・脳神経外科（二次輪番）	諸検査（CT・MRI・X線・血液等）及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可（例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能）
小児科（二次輪番）	諸検査（CT・MRI・X線・血液等）及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可
産婦人科（二次輪番）	諸検査（CT・MRI・X線・血液等）及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可（未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可）

5 医療における安全管理に対する取組

(1) 安全管理マニュアルの策定について

各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。

(2) 医療事故に対する対応について

発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM(メデイカルリスクマネジメント)委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行いません。

(3) 院内感染対策について

感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に行い、感染症発生、院内感染の監視、職員の管理(予防接種等)、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行いません。

6 地域医療の支援に対する取組

(1) 疾病予防機能の強化について

疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。)

また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。

(2) 在宅支援機能の充実について

地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。

また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪事に対応する処置、入院加療用として5床を確保します。

(3) 開放型病床の設置について

地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。

(4) 地域医療機関への医療教育プログラムの提供について

次の取組を検討し、段階的に実施します。

- ① 診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施
- ② 院内外の医療従事者に対する TCLS 又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム) の継続的实施 (2年に1回程度)
- ③ 医療機関、救急隊との定期勉強会の実施 (年2回程度)

(5) 周辺の他の医療機関との連携について

新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。

また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。

また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。

(6) 地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について

院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。

この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等の提供を行ないます。

また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。

7 病院事業の運営に関する情報の開示及び広報

病院に関する一般的な情報は、ホームページ及び広報紙を作成して情報を開示・広報します。

また、病院の活動・運営については、市民、患者と意見を交換し、市・医師会等と協議する場を継続的に設置いたします。

8 病院の施設及び附属設備の整備

(1) 施設整備計画の策定にあたっての基本方針

- ① 「公立病院改革ガイドライン」(平成19年12月24日付総経第134号総務省自治財政局長通知)の趣旨及び「公立病院に関する財政措置の改正要綱」(平成20年12月26日付総務省自治財政局地域企業経営企画室通知)に則って、市財政の負担を最小限に抑えるべく、民間病院並みの水準の整備費により建築するものとし、建築単価については、病院建物整備に係る普通交付税措置の上限である30万円/㎡を超えない範囲とし、民間医療機関に対する融資を行っている独立行政法人福祉医療機構の融資単価の25万円/㎡を目安として整備します。
- ② 施設建物の圧迫感や日影の問題、来院者(車両を含む。)の動線の設定等について近隣住民の住環境に配慮し、また、医療廃棄物、排水、排気等の処理等の安全性の視点にたった施設整備計画とします。
- ③ 当院は、市立病院として、地震等の大規模災害に強い施設として高い安全性が求められることから、災害時直後の病院機能の確保や傷病者の受入れや医療救護に対応できるよう、免震構造の採用、非常時電源設備・給水設備の配備、災害時応急用医療資機材の備蓄スペースの確保等を考慮した施設整備計画とします。

(2) 施設の概要

地名・地番	奈良県生駒市東生駒1丁目6番2		
地域・地区	商業地域	80/400	防火関係：防火地域
高度地区	31m 高度地区	日影規制：無し	
敷地面積	5,500.03 m ² (1,663.76 坪)		
許容建築面積	5,500.03 × 0.8 = 4,400.024		
許容延床面積	5,500.03 × 4.0 = 22,000.12		
駐車台数	屋外 7 台	地下 143 台	合計 150 台
駐輪台数	21 台		
バイク置場台数	27 台		
建築面積	3,632.90 m ²		
延床面積	28,094.34 m ²	(容積対象面積	21,208.49 m ²)
	8,498.54 坪		6,415.57 坪
建蔽率	66.1%	<	80.00%
容積率	385.6%	<	400.00%

	床面積	床面積	病床数
	m ²	坪	申請床
7	1,032.07	312.20	
6	3,112.36	941.49	
5	3,158.02	955.30	104 床
4	3,188.70	964.58	99 床
3	3,326.00	1,006.12	7 床
2	3,315.45	1,002.92	
1	3,164.00	957.11	
	(内駐車場 194.44)	58.82	
B1	3,895.62	1,178.43	
	(内駐車場 2,550.13)	771.41	
B2	3,902.12	1,180.39	
	(内駐車場 2,497.68)	755.55	
合計	28,094.34	8,498.54	210 床
容積対象	21,208.49	6,415.57	

(3) 各階配置計画

生駒市立病院配置表

商業地域 31m 高度地区、建ぺい/容積 = 80/400
 延床面積 28,094.34㎡(8,498.54坪)
 敷地面積 5,500.03㎡(1,663.76坪)

病 院	7階	院内保育室、講堂・交流センター、蓄電池室、電気室、屋上庭園	申請病床	
	6階	院長室、医局、看護部長室、看護部、総務課、病診連携室、図書室、会議室、サーバー室、診療情報管理室、倉庫、当直室、男女更衣室、将来対応スペース	西	東
	5階	西病棟(4人室9室、個室12室、特別個室1室、観察室1室) 東病棟(4人室9室、個室12室、特別個室1室、観察室1室) 処置室、病棟薬局、器材庫、相談室、相談室、当直室、特殊浴室	52	52
	4階	産婦人科病棟(4人室2室、個室10室、LDR室2室、診察室、分娩室、陣痛室、新生児室、授乳搾乳室、沐浴室) 小児科病棟(4人室4室、個室4室、プレイルーム) 一般病棟(4人室10室、個室16室) 観察室、処置室、病棟薬局、当直室、相談室、倉庫	48	51
	3階	手術室(3室、将来対応スペース)、麻酔科医局、ME室、洗浄室、展開室、OPE器材庫、CAG室、器具庫、操作室、リカバリー室 将来対応スペース(CAG) ICU(ICU器材庫、当直室、家族説明室、倉庫) デイサージャリー(ナースステーション、待合、リカバリー室) リハビリテーション室、言語訓練室、化学療法室	7	0
	2階	診察室、処置室、待合(産婦人科、脳神経外科、循環器内科、腎臓泌尿器科) 小児科(感染待合、感染診察室、授乳室、プレイコーナー) 人工透析(透析室、ラウンジ、更衣室、ナースステーション、器材庫) 内視鏡センター(内視鏡室、リカバリー室、ナースステーション、更衣室) 検体検査室(細菌検査室、切出室、保存庫、器材庫、スタッフルーム) 健診センター(受付、診察室、ラウンジ、器材庫)	210	
	1階	診察室、処置室(内科、消化器内科、外科、整形外科、形成外科) 筋電図室、脳波室、検査室(肺機能、眼底、聴覚)、心電図室、エコー室、負荷心電図室、採血室、中央待合、外来待合 救急処置室、点滴室、感染診察室、感染待合、ナースステーション、家族待合、診察室、処置室、MRI、CT、一般撮影、X線TV、読影室、医事課、薬局、地域医療連携室、相談室、売店、防災センター		
	B1階	厨房(調理室、下処理室、洗浄室、配膳車プール、食品庫、検収室)、職員食堂・厨房、薬品庫、DI室、製剤室、倉庫、一般ゴミ庫、感染ゴミ庫、霊安室、遺族控室、備蓄倉庫		
B2階	中央材料室(回収室、洗浄室、組立・滅菌室、保管室、払出し室) SPD室、清潔・不潔リネン庫、備蓄倉庫、将来対応スペース(リニアック室)			

駐車場 150台(地上7台・地下1階67台・地下2階76台)

駐輪場 21台

バイク置場 27台

(4) 施設配置図・各階平面図・立面図・断面図(別紙1)

9 今後10年間における病院事業の収支の見通し

(1) 経費の負担区分の原則

	市の負担	指定管理者の負担
用地（借地料）	○	
建物（建設費）	○ 病院事業債を活用	
建物の減価償却費相当額		○ 開院5年目から毎年指定管理者負担金として市に納付
医療機器等（減価償却費含む）		○
運営に伴う経費等	（負担しない）	○ 独立採算による

(2) 市の病院事業会計における収支見込み

施設整備費については、病院事業債で賄うものとします。

また、その償還財源や借地料等の財政支出については、原則として地方交付税交付金及び開院5年目から納付される指定管理者負担金（建物の減価償却費相当額）をもって充て、さらに、当該充当後の不足額については、減価償却費等の損益勘定留保資金（内部留保資金）で補填するものとします。

なお、損益勘定留保資金（内部留保資金）で補填しても、なお発生する不足額については、北部地域整備促進基金からの長期借入れをもって充てるものとします。

(3) 市の病院事業会計収支計画（別紙2）

(4) 指定管理者の収支計画（別紙3）

施設整備費に係る収支予測の試算ベース

1 施設整備費について

(単位 千円)

主な経費	金額	消費税抜き	備考
病院用地造成費	54,518	51,922	契約金額を計上
設計監理費	94,213	89,622	病院事業会計立上げ前に一般会計から執行した基本設計料27,300千円は除く。
実施設計料	70,640	67,172	契約金額を計上。ただし、開発許可申請業務2,664千円を含む。
工事監理料	23,573	22,450	契約金額を計上
その他委託料	14,466	13,757	契約金額を計上
建築工事費	8,682,852	8,266,900	契約金額を計上
事務費	75,855	75,615	H22～26年度資本的事務費(人件費69,579千円を含む)
医療機器等購入費	0	0	指定管理者側の負担のため計上せず。
合計	8,921,904	8,497,816	

424,088 (施設整備費に係る仮払消費税総額)

※減価償却費

(単位 千円)

項目(耐用年数)	減価償却対象価格	算定式	年間償却額	指定管理者負担金額
病院建物	8,497,816	(病院用地造成費+設計監理料+その他委託料+建築工事費+事務費)	382,233	264,952
建物本体(29年)	4,894,621	(建物本体金額-残存価格(10%))×償却率0.035(耐用年数29年)	154,180	154,180
附属設備(17年)	139,723	(附属設備金額-残存価格(10%))×償却率0.058(耐用年数17年)	7,294	4,276
附属設備(15年)	3,189,423	(附属設備金額-残存価格(10%))×償却率0.066(耐用年数15年)	189,452	97,992
附属設備(8年)	261,123	(附属設備金額-残存価格(10%))×償却率0.125(耐用年数8年)	29,376	8,104
附属設備(6年)	12,926	(附属設備金額-残存価格(10%))×償却率0.166(耐用年数6年)	1,931	400

※指定管理者負担金額の計算式:(附属設備金額-残存価格)×償却率×耐用年数÷建物本体の耐用年数

2 病院事業施設整備(初期投資分)に係る普通交付税算入について

(単位 千円)

企業債の元利償還金額		交付税算入額	
元利償還金総額	9,036,437	2,229,399	
通常分	8,322,979	1,872,670	企業債の元利償還金×1/2×0.45(措置率)
災害拠点施設	713,458	356,729	企業債の元利償還金×0.5(措置率)

※企業債借入条件

借入対象	据置期間(年)	償還期間(年)	年利(%)
建築工事費等	1	10	0.255～0.710

※据置期間は平成27年6月借入分のみ1年未満

3 病院事業運営に係る交付税算入について

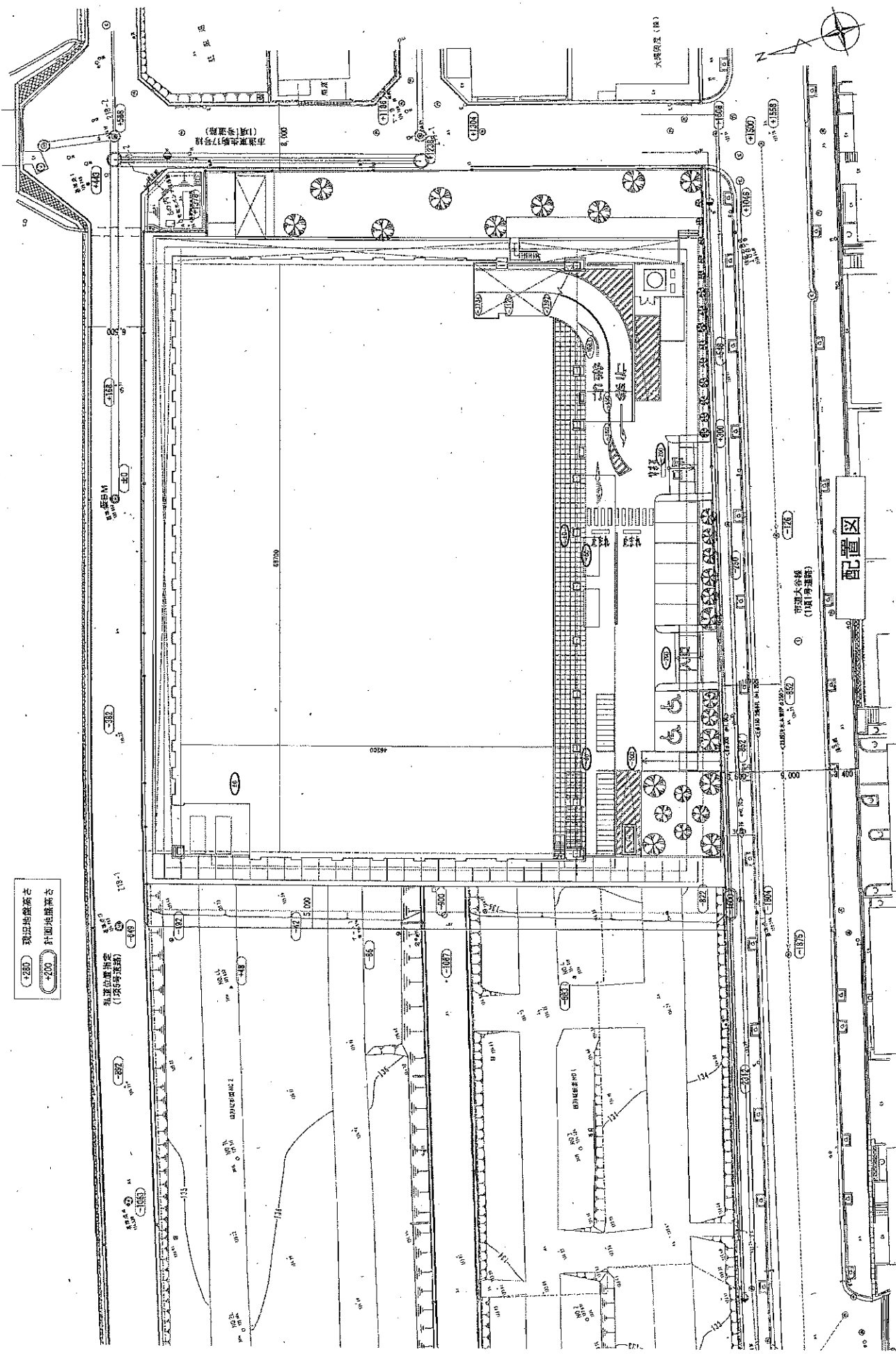
(単位 千円)

事業運営に係る交付税の種類(平成26年度単価)	交付税算入額	算定根拠	
普通交付税	病床割(平成27年度単価)	147,840	210床×704千円 ※H28年32床、H29年190床、H30年～210床の想定
	救急告示病院	41,385	1,697千円/床+固定経費32,900千円/病院 (救急専用病床5床)
特別交付税	小児医療病床	23,740	1,187千円/床×20床 ※H28年4床、H29年10床、H30～20床の想定
	小児救急医療提供病院	10,634	1病院あたり 10,634千円
合計	223,599		

別紙 1

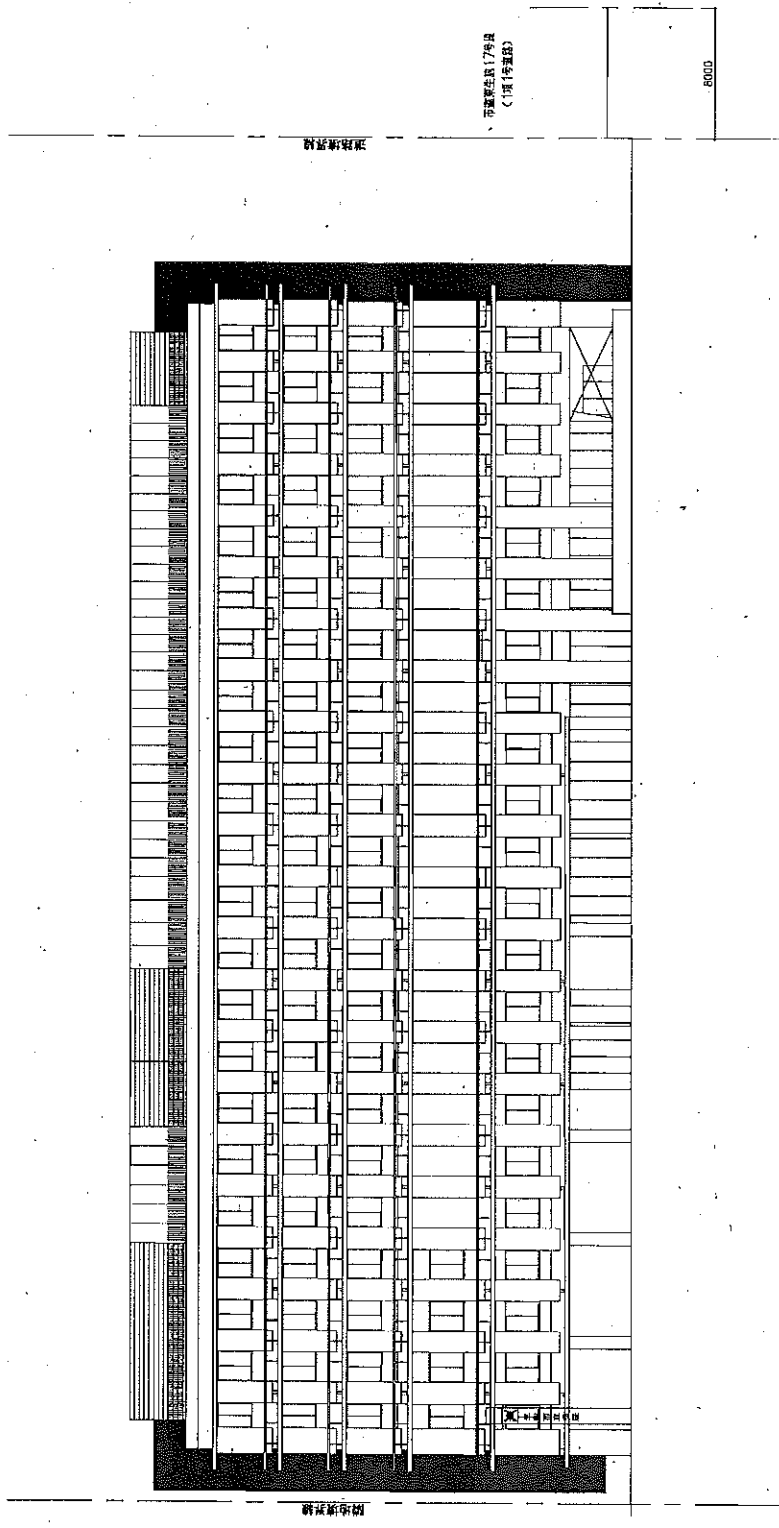
- 写真
- 施設配置図
- 各階平面図
- 立面図
- 断面図
- 配置計画
- 平面計画
- 立面断面計画
- 景観色彩計画





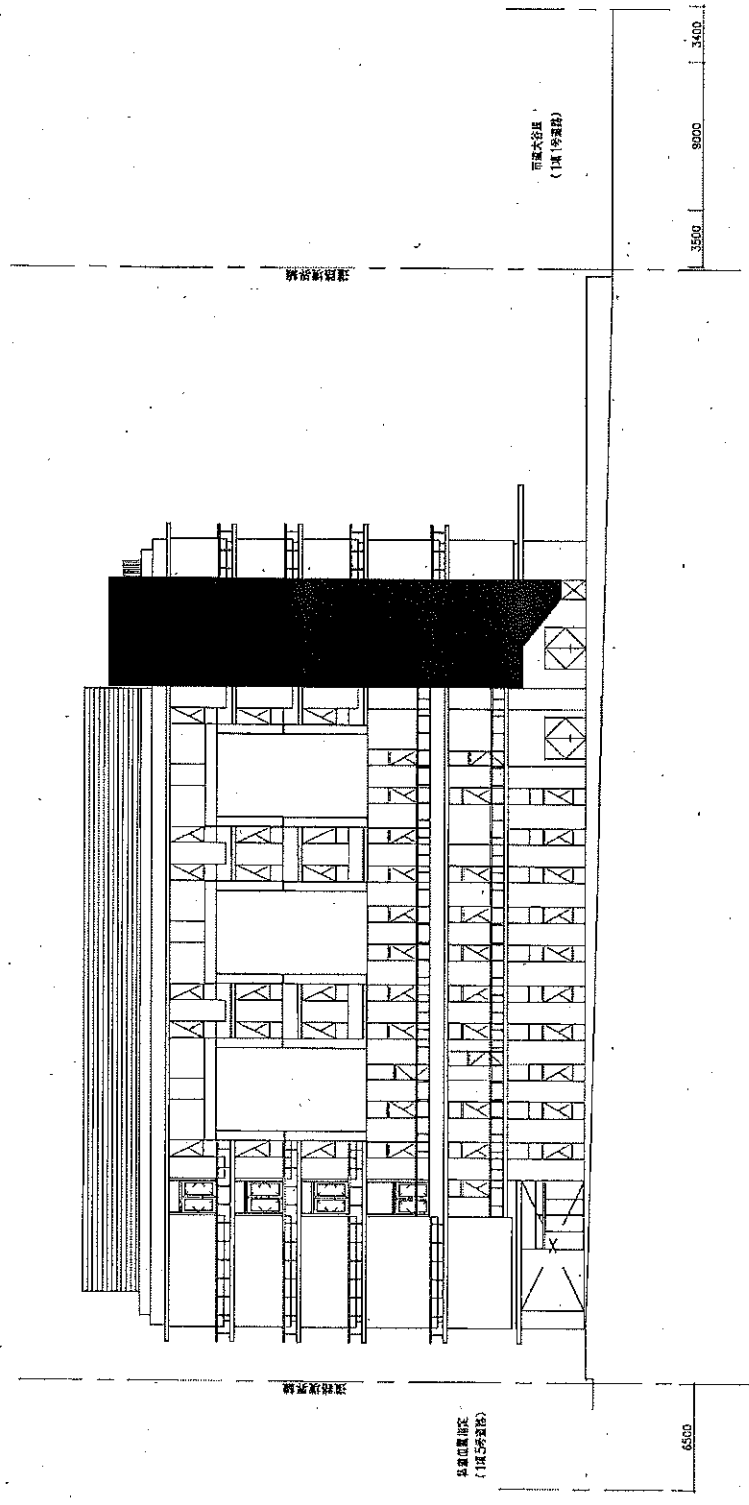
(280) 現況地盤高台
 (210) 計画地盤高台

株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. 〒230-0537	代表取締役 石本 浩一 取締役 石本 浩二 取締役 石本 浩三	建築士 一級建築士 資格取得 2012.05.24 7700名	事務所 東京都中央区 本町二丁目 1-4-10 (A3)	電話 03-6553-1111 03-6553-1112 03-6553-1113	建築士 一級建築士 資格取得 2012.05.24 7700名	事務所 東京都中央区 本町二丁目 1-4-10 (A3)	電話 03-6553-1111 03-6553-1112 03-6553-1113
---	--	---	---------------------------------------	--	---	---------------------------------------	--




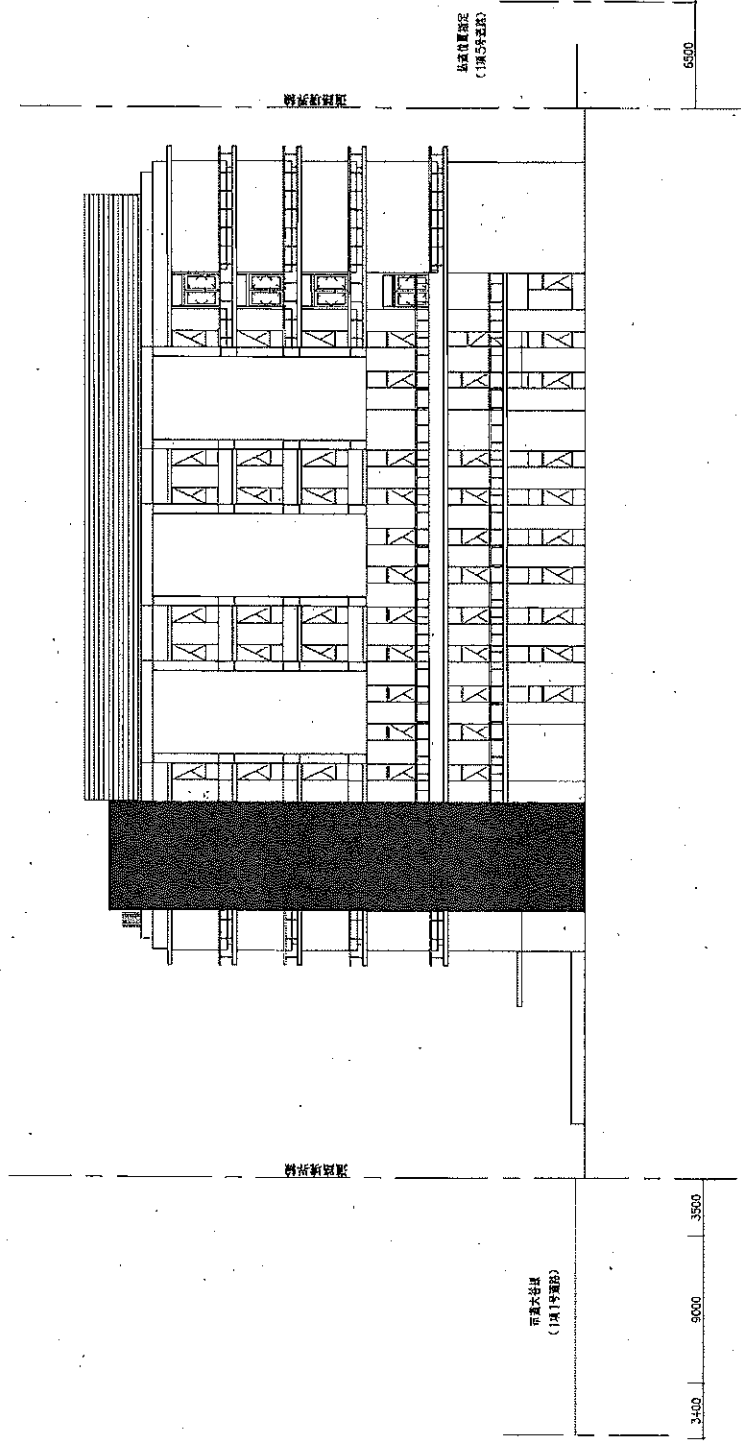
南立面图

工程名称 市属某住宅17号段 (17号房屋)		工程编号 18040-01		设计单位 上海市政工程设计研究总院(集团)有限公司 市政设计院		设计人 张明		审核人 张明		日期 2012.05.24		比例 1:300 (A3)		图号 18040-01-01	
设计人 张明		审核人 张明		日期 2012.05.24		比例 1:300 (A3)		图号 18040-01-01		设计人 张明		审核人 张明		日期 2012.05.24	
设计人 张明		审核人 张明		日期 2012.05.24		比例 1:300 (A3)		图号 18040-01-01		设计人 张明		审核人 张明		日期 2012.05.24	



西立面图

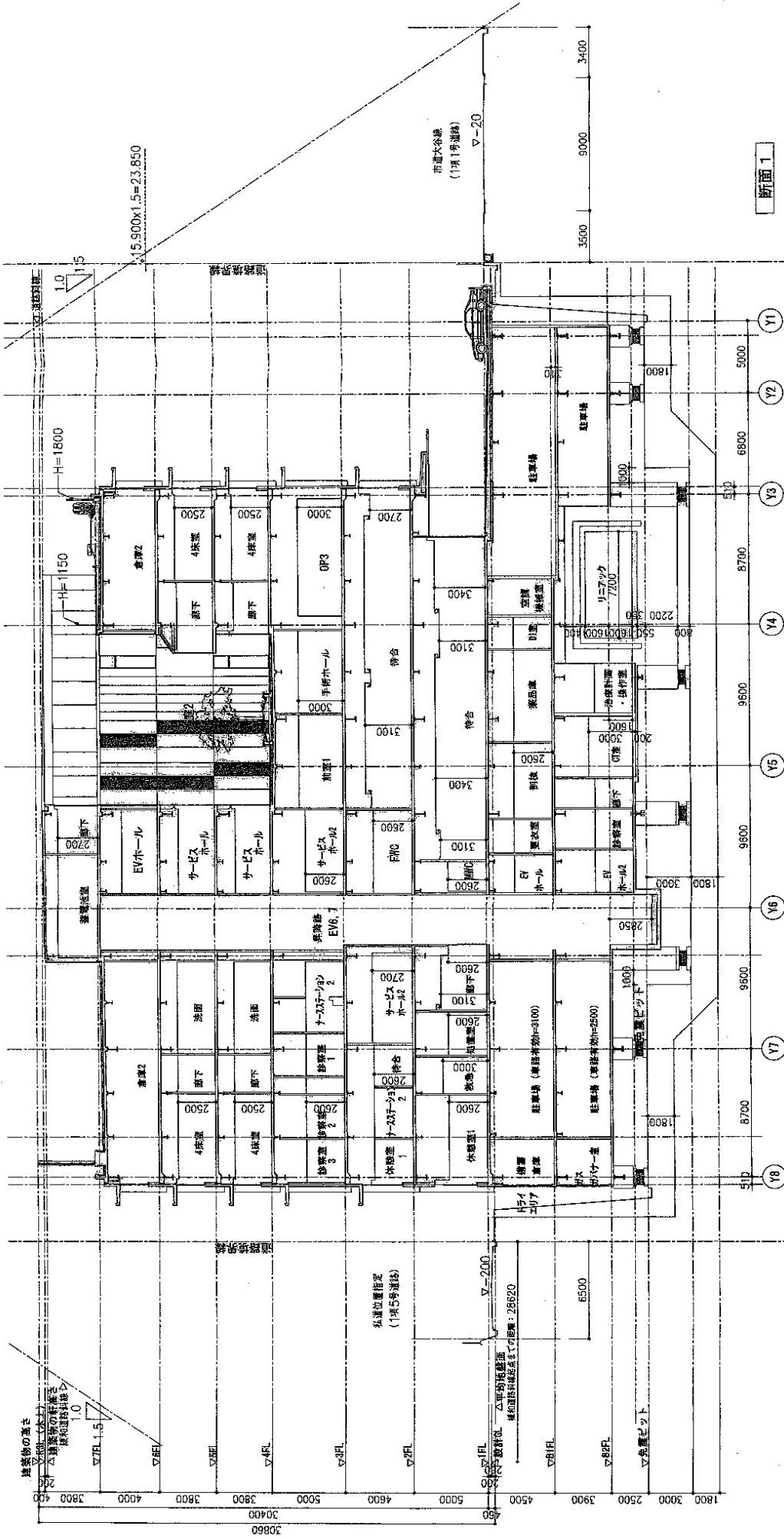
 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.		工程名称 市属六层住宅 (11层(含裙楼))		工程地点 大连市西岗区		设计日期 2012.05.24		设计阶段 方案阶段		设计人 张立		审核人 张立		专业负责人 张立		注册建筑师 张立 (10405-01)		比例 1:300 (A3)		图号 1051609		日期 2012.05.24		备注 1. 本图是根据甲方提供的资料绘制的, 如有变更, 请及时通知设计单位。 2. 本图仅供方案阶段使用, 不作为施工依据。	
--	--	---------------------------	--	----------------	--	--------------------	--	--------------	--	-----------	--	-----------	--	-------------	--	------------------------	--	------------------	--	---------------	--	------------------	--	---	--



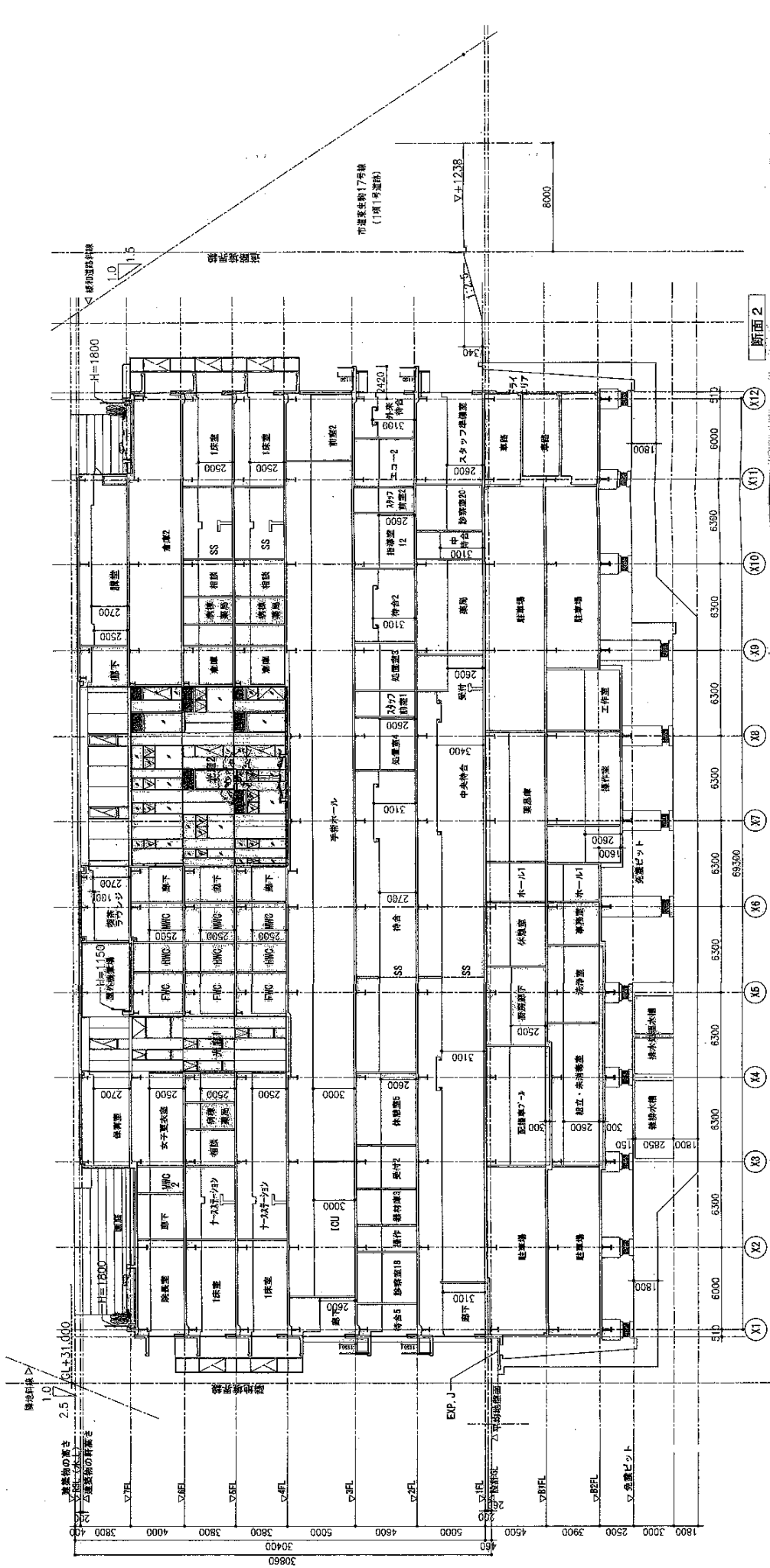
東立面图

<p>株式会社 石本建築事務所 Shiroishi Architectural & Engineering Firm, Inc.</p>		<p>工程名称: 品源信置酒店 (1楼5号室附)</p> <p>工程地点: 品源信置酒店 (1楼5号室附)</p> <p>工程阶段: 施工图设计</p> <p>设计日期: 2012.05.24</p> <p>设计人: 石本 浩二</p> <p>审核人: 石本 浩二</p> <p>制图人: 石本 浩二</p>	<p>项目编号: 10800-01</p> <p>图名: 东立面图</p> <p>比例: 1:300 (A3)</p>	<p>设计单位: 品源信置酒店 (1楼5号室附)</p> <p>设计人: 石本 浩二</p> <p>审核人: 石本 浩二</p> <p>制图人: 石本 浩二</p>	<p>设计日期: 2012.05.24</p> <p>设计人: 石本 浩二</p> <p>审核人: 石本 浩二</p> <p>制图人: 石本 浩二</p>	<p>设计单位: 品源信置酒店 (1楼5号室附)</p> <p>设计人: 石本 浩二</p> <p>审核人: 石本 浩二</p> <p>制图人: 石本 浩二</p>	<p>设计日期: 2012.05.24</p> <p>设计人: 石本 浩二</p> <p>审核人: 石本 浩二</p> <p>制图人: 石本 浩二</p>	<p>设计单位: 品源信置酒店 (1楼5号室附)</p> <p>设计人: 石本 浩二</p> <p>审核人: 石本 浩二</p> <p>制图人: 石本 浩二</p>	<p>设计日期: 2012.05.24</p> <p>设计人: 石本 浩二</p> <p>审核人: 石本 浩二</p> <p>制图人: 石本 浩二</p>	<p>设计单位: 品源信置酒店 (1楼5号室附)</p> <p>设计人: 石本 浩二</p> <p>审核人: 石本 浩二</p> <p>制图人: 石本 浩二</p>
--	--	--	---	--	---	--	---	--	---	--

X-X 断面図



断面 1



Y-Y 断面図

配置計画

(1) 計画方針

- ① 周辺建物間の距離等の環境の調和。(圧迫感の配慮から位置を北西に)
- ② 東側への日影をできるだけ最小限に抑える。(建物位置を北西に寄せる)
- ③ 歩車分離の動線計画。
- ④ 駐車台数の確保。(地階スペースを最大限活用)
- ⑤ 周辺状況に配慮した緊急車両の進入路確保。
- ⑥ 敷地内での動線交差を最小限にとどめる。(敷地内一方通行)
- ⑦ バリアフリーへの配慮。(誘導ブロック敷設、段差を少なく)

(2) 周辺との関係と動線処理

① 歩行者

南側市道大谷線の歩道の正面玄関に近い位置から直進して建物内部へ至る明確な動線をとる。安全面に配慮し、敷地内の歩車分離を考慮した動線とした。

② 一般車両

一般車両の出入口は市道大谷線側に設置。入口と出口は分離し、敷地内を主に一方通行とすることで明確で安全な動線とする。正面の車路は幅8mを確保します。

入口より進入し、正面玄関前の二車線は地下駐車場もしくは地上駐車場へ。建物側の一車線は送迎のみ停車可とする。地下駐車場より出てきた一般車両は再び市道大谷線へ。

車椅子用駐車場は入口車路の左側に確保した。

③ 緊急車両

救急車は、近隣住民への影響を極力少なくする配慮から、西側の共用宅内通路を通行に利用し、緊急車両と一般車両の交差をできるだけ最小限に抑える。

④ タクシー車

タクシーは一般車両と同様の動線。待機場は送迎の車線と兼ねるが、多くは停車できない。駅前のタクシー乗場から近いこともあるため、電話での呼び出しとすなど、今後運営上で配慮していく。

⑤ バイク・自転車

西側に駐輪場21台、バイク置場27台を設置。

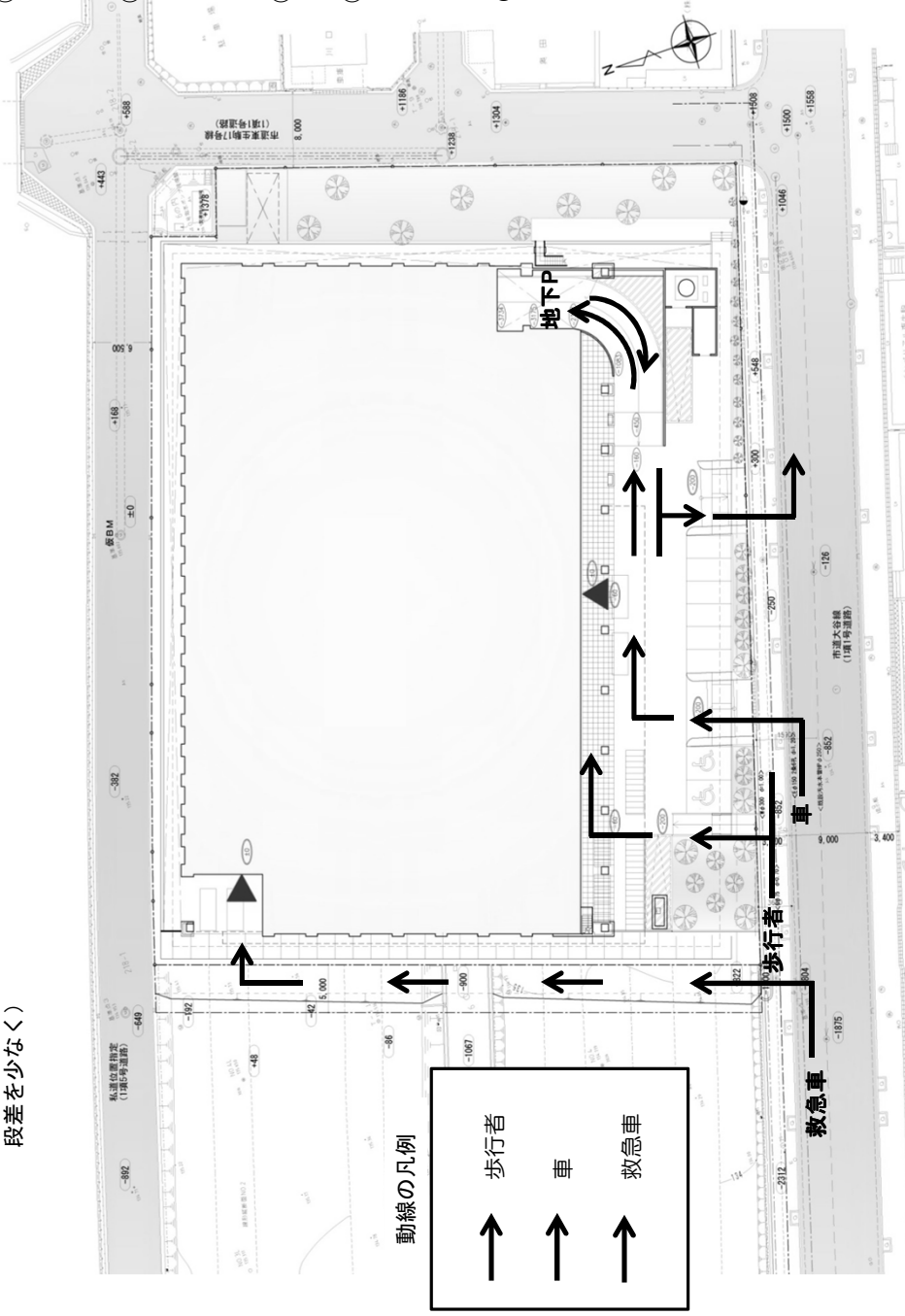
⑥ 業務車両

屋外においては、医療ガスボンベ車・タンクローリー車が週に数台、南東側に停車する。
一般廃棄物回収車は、地下駐車場で作業を行う。動線は一般車両と同様。

⑦ 留意事項

西側の宅内通路は、隣地事業者と共に、隣地境界を中心に幅6mで設ける予定である。利用用途などについては関係事業者と確定させる必要がある。

※正面車路実例



平面計画

(1) 計画方針

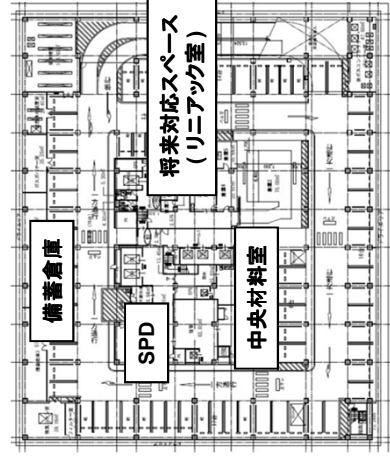
- ・ 外来患者や救急患者の動線を出来るだけコンパクトにまとめたゾーニングとする。
- ・ 二方向避難はもちろんだが避難が有効にいくような階段配置とする。
- ・ 救急診察室から上階への移動、階の水平移動もスムーズにいくようにする。
- ・ 入院患者のためにデイリームを設け明るい病棟とする。
- ・ OP（手術）ゾーンをしつかり区分することでより充実した平面空間とする。
- ・ ICU（集中治療室）やDS（日帰り手術）とOP（手術）とを同階にすることで敏速に対応できるようにする。
- ・ 職員の動線に配慮し、管理部門をまとめる。

(2) 各階平面計画について

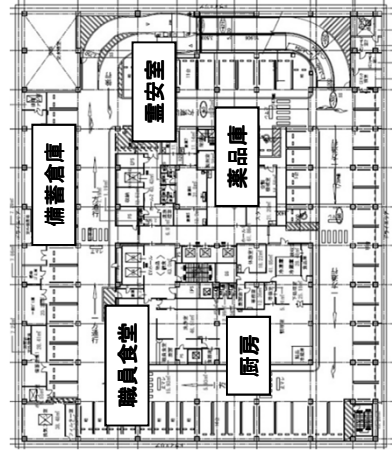
駐車場	敷地内全体に建物が配置されているため、駐車場は地下に多くを設ける。全て平面駐車とし、地下2階76台、地下1階67台、1階76台で計150台の駐車台数を設けた。（業務用車両の停車場を含む）
中央材料室	清潔・不潔の物品の縦動線を専用ELVにより明確に区分した。
霊安室	出入がスムーズにいくような位置とし、家族控室も併設した。
厨房	毎食210人分の食事をまかなえる広さとし、地下から食品搬入し、配膳下階はEVを使用して行う。職員のアメニティー充実として職員食堂を併設した。
薬品庫	薬品庫内部に昇降機を設け、薬局や各病棟階のSS（スタッフフターション）とのやり取りをスムーズにした。
備蓄倉庫	災害時の初期救急体制として、応急用医薬品、トリアージタッグ、簡易ベットを常備できるスペースとして配置した。

・ 1階

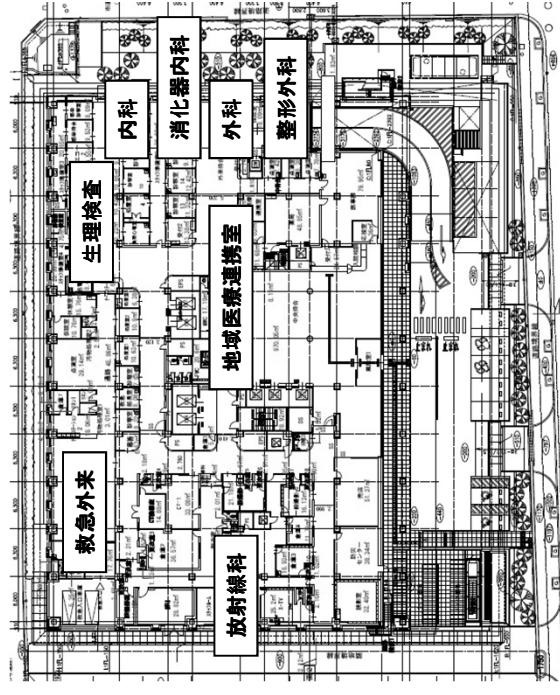
駐車場	平面として駐車台数は7台（うち車椅子用2台）を設けた。
エントランスホール	正面玄関をガラス貼りとして、より光を採り入れることで明るく、清潔感のある空間とする。受付もわかりやすい位置とした。
外来ゾーン	外来患者の動線を一番に考え、受付等からも近い東側にゾーン配置した。中央に待合室を設けることで診察室への動線を短くした。
放射線ゾーン	外来患者への配慮から、西側のエリアに配置した。中央に操作室を設け、よりスムーズに検査が行えるように配置した。また、将来的な運用も考慮して、一般撮影室（X線撮影）3室、CT室（コンピュータ断層撮影）2室、MRI室（磁気共鳴画像診断）1室、X線TV室（X線テレビ撮影）1室に加え、近年増え続ける乳がん検査として有効なマンモグラフィーム（乳房エックス線撮影）1室を配置する計画とした。
救急ゾーン	一般の外来患者等の動線と交差することなく、単独で対応可能とするため、北側にゾーン配置する。
地域医療部	MSW等の専任職員を配置し、地域医療機関との相互の紹介をはじめ診療情報等の提供や患者等の相談窓口として配置した。



B2階平面図



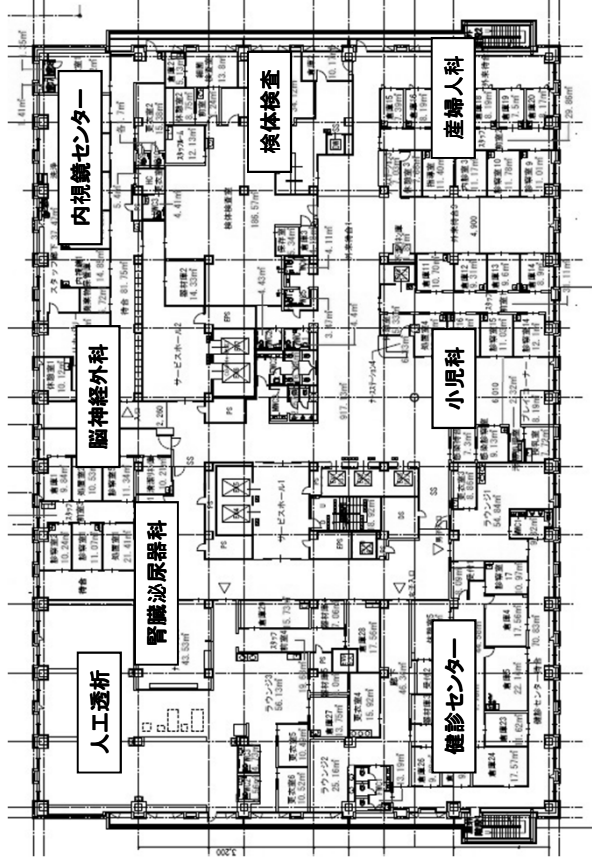
B1階平面図



1階平面図

・ 2 階

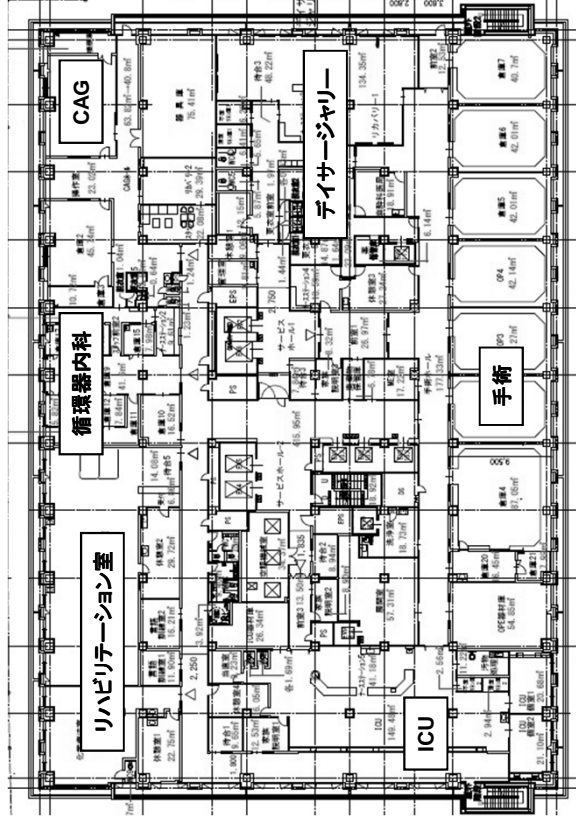
内視鏡センター	需要が増大していることを考慮し、他の同規模の病院に比べ充実した広さと設備とした。
健診センター	コンパクトなつくりではあるが場所も分かりやすく、市民の健診を行えるスペースとした。
検体検査室	将来的な運用も考慮して、病理検査室、遺伝子検査室、細菌検査室を設けて機能の充実を図った。
透析センター	入院患者への対応としてベッド数を10床とした。
産婦人科	1階の外来ゾーン内ではなく、独立した診察ゾーンとして産科、婦人科共にデリケートな部分にも対応する配置とした。
外来ゾーン	外来患者の動線を一番に考え、エレベーターに隣接した配置とした。小児科は感染等の懸念もあり、エレベーターの最も近くに配置し、動線を短くした。



2 階平面図

・ 3 階

OPゾーン	OP室（手術室）は7室としてさまざまな手術や救急に備えた数とした。OP室ゾーンに隣接しCAG室（冠動脈造影）を設けて、より動線を短く適切な対応できるように工夫した。避難に有効な外部階段も2ヶ所設置した。
ICU	ICU（集中治療室）は7床とし、病床以外の部分にも医療ガス等を備え、災害時や緊急時は簡易ベッドにより対応できる空間となる。
DS	DS（白帰り手術）は、主に外科、整形外科、内科、循環器内科などの日帰り手術時の術前処置及び術後回復室として、7床配置した。
リハビリテーションセンター	さまざまなリハビリを行うため、大空間が必要であり、採光を多く取り入れ、患者さんが明るい気持ちで治療に専念できるように配置した。



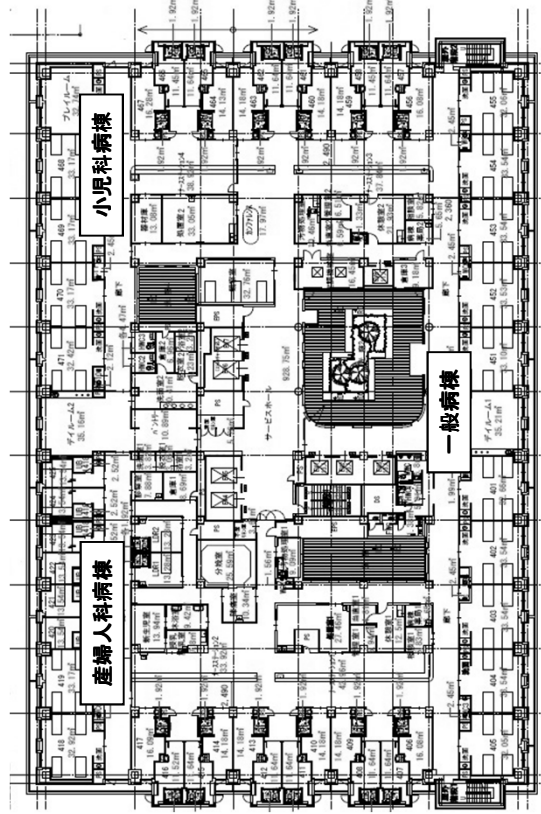
3 階平面図

・ 4 階 (産婦人科病床20床、小児科病床20床、一般病床59床)

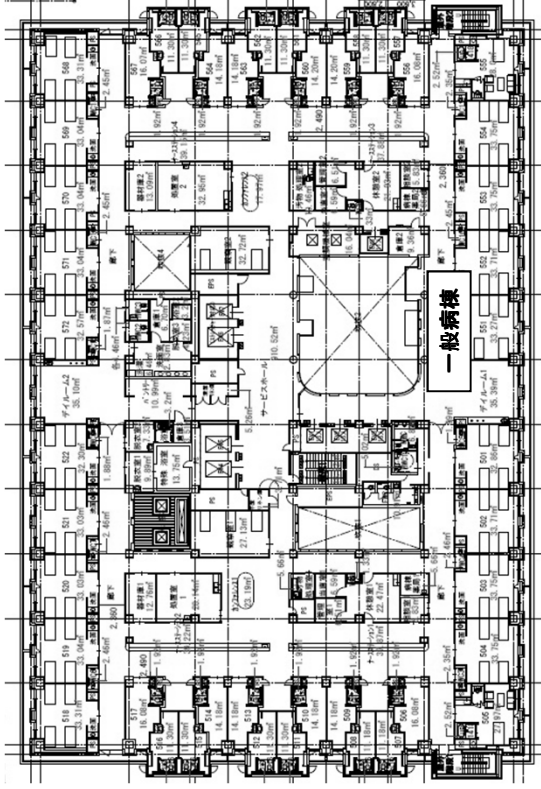
・ 5 階 (一般病床104床)

<p>病床階</p>	<p>この階には西ゾーンに産婦人科病床20床と一般病床28床、東ゾーンに小児科病床20床と一般病床31床という構成。産婦人科病棟と一般病棟とは扉にて区画している。</p> <p>産婦人科ゾーンには中央に分娩・陣痛室や新生児室もあり、いつでも対応可能な動線距離とした。近年個室利用者が増えているという状況から、LDR2室と個室を多く配置した。</p> <p>入院している子供達のために玩具や本を備えたプレイルームを併設した。また、子供の行動制限、一般病棟患者の出入制限のため、小児科病棟と一般病棟間には扉にて区画した。</p> <p>中央にSS(スタッフステーション)があることにより、管理しやすい配置となっている。中央に浴室等共同利用する部屋を配置した。</p>
<p>光庭</p>	<p>病院内部への採光・通風により省エネ効果と入院患者の癒し効果を期待できるように配慮した。</p>

<p>病棟階</p>	<p>西ゾーンに一般病床52床、東ゾーンに一般病床52床という構成。中廊下スタイルや光庭の配置は、ほぼ基準階と同様の造りとした。</p>
------------	--



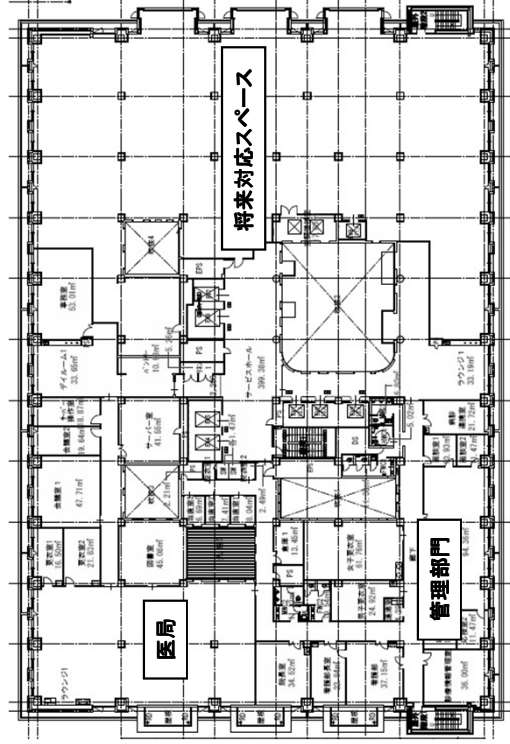
4 階平面図



5 階平面図

・ 6 階

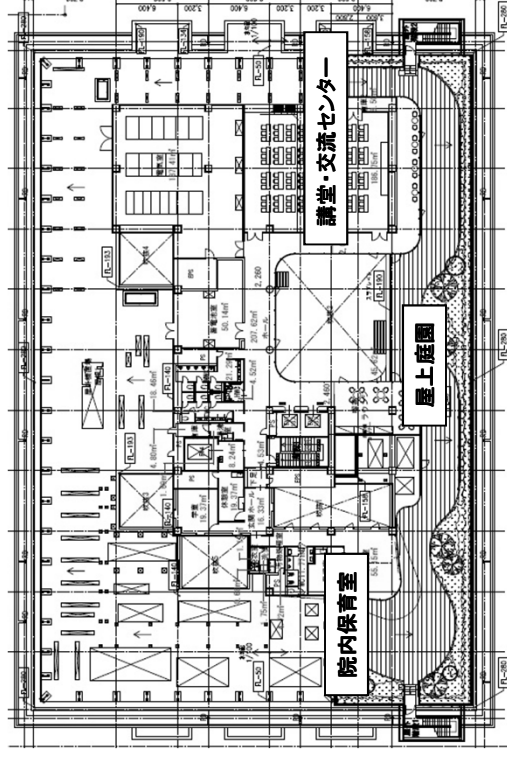
医局	医局内に当直室や図書室、加アクリル室を併設することで機能面での充実、集約化を図り、医師の動線がよりコンパクトになるように計画した。
将来対応部分	将来の要求に対応できるサステイナブルな計画とし、また病児保育スペースにも対応できる計画とした。



6 階平面図

・ 7 階

保育室	職員が長く働き続けることのできる環境整備として、職員のアメニティーを充実させるために院内職員専用の保育室を配置した。
講堂・交流センター	疾病予防の取り組みとして、市民に医療について関心をもちてもらいたい、又、より正しい認識をもってもらえるように、医療講演会などの定例開催などが実現できるスペースとして配置した。
屋上庭園	建物の冷暖房に係る省エネ効果や癒しの効果を図るため、可能な限り緑のスペースを確保した。



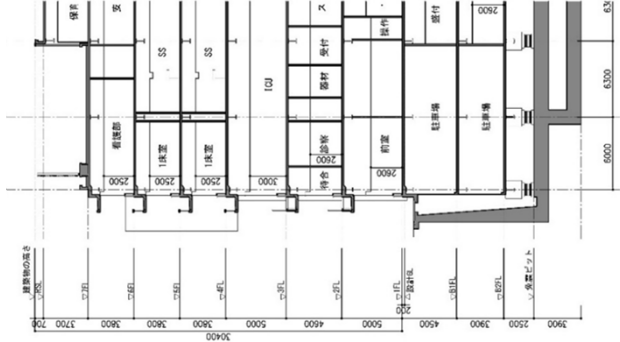
7 階平面図

立面・断面計画

(1) 計画方針

- ・計画地は31m高度地区であり、高さ制限31m以内の建物高さを目指す。
- ・210床の各階への配分と高さ制限等の検討により下記のような構成とした。

7階	院内保育園		講堂・交流センター	
6階	医局		将来対応スペース	
5階	管理部門			
4階	一般病棟・観察室(104床)			
3階	産婦人科病棟(20床)		小児科病棟(20床)	
2階	リハビリテーション科	ICU(7床)	手術	デイスタージャーリー
1階	人工透析	脳神経外科	婦人科	小児科
B1階	放射線科	救急外来	内科	整形外科
B2階	厨房	職員食堂	薬品庫	駐車場
	SPD	中央材料室	リニアック室	駐車場
			(将来対応)	



- ・敷地現況地盤は高低差があることから、道路からのアクセス等を考慮し、設計GLを仮BM-200とした。
- ・階高は基準階は3.8mとし、エントランスホール、放射線科のある1階、OP室のある3階を5.0mとした。
- ・透析センターのある2階は空調ダクトの設備を考慮し4.6mとした。
- ・駐車場のある地階は搬入を考慮し、地下1階を4.5m、地下2階を3.9mとした。
- ・天井高さは基準階の病室で2.5m、1階外来ゾーンやOP室は2.8~3.0mとした。
- ・通常の縦移動にはE/Vを10ヶ所、小荷物昇降機1ヶ所を設置し、救急からOP室への移動もスムーズにした。

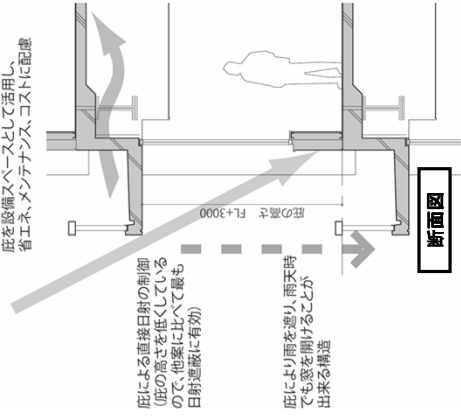
景観・色彩計画

(1) 計画方針

本計画においては、生駒市の景観の背景となっている生駒山系や矢田丘陵などの「緑の稜線」に配慮しながら、周辺地域とも合致する色彩計画を行い、良好な景観環境を目指すものとします。

(2) 建物外観

- ・奈良県内には、日本建築の軒庇を用いた優れた建築が多数あり、奈良県庁や県立博物館といった近代建築においても周辺環境と調和する外観が実現されている。
- ・生駒市立病院においても良き伝統を継承した外観デザインとした。
- ・色彩は銀黒色の瓦や漆喰の白色、黒系色の木で構成された日本建築に倣いモノトーン系とした。
- ・庇により直射日光を制御し熱負荷を下げるとともに、雨の日にも窓を開けられる構成とした。
- ・Pea板を採用することで、工期の短縮と仮設費の抑制を図る。



奈良県内の建築物



別紙 2

- ・市病院事業会計収支計画

平成27年11月16日現在

生駒市病院事業会計収支計画

Table with columns for fiscal year (年度) from 2010 to 2025, and rows for various financial items (勘定科目) such as income (収入), expenses (支出), and net income (収支差引). The table includes detailed sub-items and numerical values for each year, with a unit of 千円 (thousand yen) indicated at the top right.

※収益的収支から現金支出を伴わない減価償却費と長期借入金利息(未払金分)を除く

別紙 3

- ・ 指定管理者の収支計画

◆開設計画 要件設定①(患者、人員)

病床計画		病床利用率	
申請病床数	210		
一般病床	210	67%	
療養病床	0		

患者計画	
一日平均一般入院患者数	140
療養型入院患者数	0
一日平均外来患者数	300
計	140

人員計画		新看護体系 人員割合		看護基準		看護加算		看護師割合	
法定医師数	21	109	看護師	80	看護割合	2.0	A	70%以上	形成外科
法定看護数	80		補助者	24	加算	A	B	40%~70%	整形外科
看護補助者	29		看護師	29	補助者割合	5	なし	40%以下	脳神経外科
医師・看護師	0		補助者	0	看護割合	5	看護割合比較		心臓血管外科
通所介護補助者	0		看護師	0	補助者割合	.5	1.4:1→7:1		脳神経外科
PT, OT	3		看護師	0	補助者割合	.5	2.0:1→10:1		小児科
法定薬剤師	6		看護師	0	補助者割合	.5	2.6:1→13:1		泌尿器科
栄養士	1		看護師	0	補助者割合	.5	3.0:1→15:1		皮膚科
放射線技師	6		看護師	0	補助者割合	.5	3.0:1→15:1		消化器内科
検査技師	7		看護師	0	補助者割合	.5	3.0:1→15:1		産婦人科
事務、他	40		看護師	0	補助者割合	.5	3.0:1→15:1		産婦人科
人員合計	196		看護師	0	補助者割合	.5	3.0:1→15:1		産婦人科

人員費計画

医師	看護師	准看、補助	薬剤師	事務、他	人員合計	法定基準数	初年度	月給与	年間給与	給与合計
21	40	40	7	40	196	210	196	1,100	15,400	354,200
40	40	40	7	40	196	210	196	300	4,800	273,600
40	40	40	7	40	196	210	196	200	3,200	166,400
7	24	24	250	220	196	210	196	4,000	4,000	94,533
40	40	40	220	220	196	210	196	3,520	3,520	139,392
196					196	210	196			1,028,125
										12%
										123,375
										1,151,500

◆開設計画 要件設定②(土地、建物)

建築物使用条件 (金額単位:千円)

(新築・取得の場合)	坪	坪単価	坪単価
延床面積①	8,271.83	27,345.04	672.2
建築工事費単価	646.9	195.7	→

取得の場合	坪	坪単価(円)	坪	坪単価(円)
土地面積③				
取得価格③				
造成費		49,170		

(賃借の場合)	坪	坪単価	坪単価
延床面積②	8,271.83	27,345.04	28.1
賃借料		232,779	2.3

(賃借の場合)	坪	坪単価(円)	坪	坪単価(円)
土地面積④		1,663.75		5,500.00
年間賃借料		0		
月間賃借料		0		

賃借料	坪単価(円)	月間	年間
建物	2,345	19,398	232,779
その他	0	0	0
合計	2,345	19,398	232,779

建築率	80%	最大建坪	1,331.0	4,400.00
容積率	400%	最大延床	6,655.0	22,000.00

土地取得税	0
建物取得税	0
保存登記税	0
移転登記税	0
抵当権設定費	0
不動産手数料	0
税金等合計	0

建物の構造	鉄骨造
階数	9

地下2階、地上7階

◆開設計画 要件設定③(資金・費用)

経費	坪単価(円)	月間	年間	標準単価
水道光熱費	420	11,485	137,819	600
保守衛生費	350	9,571	114,849	500
リース料				年間
医療機器	1,500,000	1.33	33,250	399,000

資金計画 (単位:千円)

土地	0	自己資金	388,000
建物	0	銀行①借入	0
機械器具	100,000	事業団借入	0
運転資金	288,000		
計	388,000	計	388,000

※運転資金は人件費の3ヶ月分+税金・保証金等

借入金	返済期間	金利	据置期間
銀行①借入	0	20	2.40%

(徳洲会は通常定率法を使用)

減価償却費	取得価格	年数	初年度
建物	2,939,578	29	92,597
設備	2,359,963	15	140,182
機械器具、備品	100,000	5	36,900

定率法

定額法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

定率法

建築工事費8,232,000千円×請負率65%

収支計画表

(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
入院	140.0	161.0	177.1	186.0	195.3	205.0	205.0	205.0	205.0	205.0
1人1日診療者数(人)	29,300	30,179	31,084	32,017	32,977	33,967	34,986	36,035	37,116	38,230
1人1日診療単価(円)	300.0	360.0	432.0	496.8	546.5	573.8	596.8	614.7	627.0	633.2
外来	9,000	9,270	9,548	9,835	10,130	10,433	10,746	11,069	11,401	11,743
1人1日診療単価(円)	1,497,230	1,773,469	2,009,340	2,173,102	2,350,209	2,541,751	2,618,004	2,696,544	2,777,440	2,860,764
入院収入	985,500	1,218,078	1,605,544	1,783,317	2,020,499	2,185,169	2,480,753	2,688,960	2,808,960	2,714,101
外来収入	2,482,730	2,991,547	3,514,885	3,956,419	4,370,708	4,726,921	4,958,757	5,179,849	5,368,401	5,574,865
診療収入計	8,983	10,641	12,056	13,039	14,101	15,251	15,708	16,179	16,665	17,165
室料差額	4,965	5,983	7,030	7,913	8,741	9,454	9,918	10,360	10,773	11,150
文章料収入	30,000	31,500	33,075	34,729	36,465	38,288	40,203	42,213	44,324	46,540
小児科輪番体制補助金	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449
産婦人科一次輪番補助金	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124
内科外科輪番制委託料	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111
保険等調整	-9,931	-11,966	-14,060	-15,826	-17,483	-18,908	-19,835	-20,719	-21,546	-22,299
収入合計	2,535,432	3,046,389	3,571,670	4,014,957	4,431,217	4,789,690	5,023,435	5,246,566	5,455,300	5,646,104
医薬品費	354,960	411,262	464,317	521,944	576,058	622,660	663,046	682,054	709,189	733,993
医薬業	253,543	289,407	339,309	381,421	420,966	455,021	477,226	498,424	518,254	536,380
原価	229,848	273,535	316,445	350,928	383,668	412,504	428,983	444,714	459,430	472,881
その他	838,352	974,205	1,120,070	1,254,294	1,380,692	1,490,184	1,559,256	1,625,191	1,686,872	1,743,255
計	199,500	399,000	399,000	399,000	399,000	399,500	399,500	399,500	399,500	399,500
医療機器リース料	354,200	397,412	445,897	500,296	561,332	601,187	637,739	670,009	697,077	718,129
人件費	797,300	901,514	1,020,453	1,156,324	1,283,702	1,370,733	1,441,313	1,505,480	1,561,787	1,608,952
その他	1,151,600	1,298,926	1,466,350	1,656,620	1,845,034	1,971,920	2,079,052	2,175,489	2,258,864	2,327,081
計	137,819	144,710	151,945	159,543	167,520	175,896	184,691	193,925	203,621	213,803
水道光熱費	114,849	120,591	126,621	132,952	139,600	146,580	153,909	161,604	169,684	178,168
保守衛生費	152,126	182,783	214,300	240,897	265,873	287,381	301,406	314,794	327,318	338,766
その他	404,794	448,085	492,867	533,392	572,993	609,857	640,624	670,323	700,624	730,737
計	2,594,146	3,120,215	3,478,287	3,843,306	4,197,718	4,477,813	4,670,503	4,845,860	5,000,573	5,111
費用合計	-2%	-2%	3%	4%	5%	5%	5%	5%	5%	11%
営業利益	-58,714	-73,826	93,383	171,651	233,499	518,228	545,622	576,062	609,440	645,531
(賃借料、減価償却費除く)										
売店収入										
売店費用										
計										
営業利益										
土地建物賃借料										
減価償却										
計										
受取利息										
その他収益										
計										
支払利息										
その他費用										
計										
営業外損益										
経常利益										
対医療収入(%)	-11.9%	-3.6%	1.7%	3.6%	5.3%	5.7%	5.3%	5.9%	6.5%	7.1%
法人税等	0	0	0	0	0	22,777	132,194	155,333	177,429	199,296
差引年間損益	-301,614	-109,110	61,958	144,380	-21,130	248,894	132,194	155,333	177,429	199,296
返済金額	0	33,333	66,667	100,000	111,111	111,111	111,111	111,111	111,111	111,111
返済原資	-264,714	-85,826	76,050	153,651	-15,280	248,894	169,094	178,617	192,121	208,567

* 累積赤字解消まで法人税は0

医療原価内訳(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
医薬品費	354,960	411,262	464,317	521,944	576,058	622,660	653,046	682,054	709,189	733,993
対医療収入(%)	14.0%	13.5%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%
医療消耗品	253,543	289,407	339,309	381,421	420,966	455,021	477,226	498,424	518,254	536,380
(%)	10.0%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%
検査委託料	50,709	60,928	71,433	80,299	88,624	95,794	100,469	104,931	109,106	112,922
(%)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
検査材料費	25,354	30,464	35,717	40,150	44,312	47,897	50,234	52,466	54,553	56,461
(%)	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
画像診断材料費	50,709	60,928	71,433	80,299	88,624	95,794	100,469	104,931	109,106	112,922
(%)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
給食材料費	51,100	58,765	64,642	67,874	71,267	74,831	74,831	74,831	74,831	74,831
(%)	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%
基準賃金委託費	1,268	1,523	1,786	2,007	2,216	2,395	2,512	2,623	2,728	2,823
(%)	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
その他経費	50,709	60,928	71,433	80,299	88,624	95,794	100,469	104,931	109,106	112,922
(%)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
医療原価合計	838,352	974,205	1,120,070	1,254,294	1,380,692	1,490,184	1,559,256	1,625,191	1,686,872	1,743,255
対医療収入(%)	33.1%	32.0%	31.4%	31.2%	31.2%	31.1%	31.0%	31.0%	30.9%	30.9%

新看護体系

年間昇給率	法定福利費	2.0%	5	加算
	12.0%		A	

人件費内訳(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
医師	15,400	354,200	445,897	500,296	561,332	601,187	637,739	670,009	697,077	718,129
看護師	4,800	273,600	344,431	386,451	433,598	464,384	492,618	517,545	538,454	554,715
准看、補助	3,200	166,400	228,955	268,564	301,329	322,723	342,344	359,667	374,198	385,498
パラメディカル	4,000	94,533	110,888	130,071	171,187	183,342	188,879	194,583	200,459	206,513
事務、他	3,520	139,392	149,289	171,240	179,905	189,008	194,716	200,597	206,655	212,896
合計		196	217	267	291	305	314	322	327	330
法定福利費		1,028,125	1,159,755	1,309,241	1,479,125	1,647,352	1,856,296	1,942,401	2,016,843	2,077,751
		123,375	139,171	157,109	177,495	197,682	223,756	233,088	242,021	249,330
人件費合計		1,151,500	1,298,926	1,466,350	1,656,620	1,845,034	2,079,052	2,175,489	2,258,864	2,327,081
対医療収入(%)		45.4%	41.1%	41.3%	41.6%	41.2%	41.4%	41.5%	41.4%	41.2%

医療経費内訳(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
水道光熱費	137,819	144,710	151,945	159,543	167,520	175,896	184,691	193,925	203,621	213,803
対医療収入(%)	5.4%	4.8%	4.3%	4.0%	3.8%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.8%
保守衛生費	114,849	120,891	126,621	132,952	139,600	146,580	153,909	161,604	169,684	178,168
対医療収入(%)	4.5%	4.0%	3.5%	3.3%	3.2%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.2%
その他経費	152,126	182,783	214,300	240,897	265,873	287,381	301,406	314,794	327,318	338,766
対医療収入(%)	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%
合計	404,794	448,085	492,867	533,392	572,993	609,857	640,005	670,624	700,624	730,737
対医療収入(%)	16.0%	14.7%	13.8%	13.3%	12.9%	12.7%	12.7%	12.8%	12.8%	12.9%

*その他経費の項目

福利厚生費/車両費/通信費/寄付金/会議費/接待交際費/消耗品費/支払手数料/調査費/雑費/被服費/賃借料/諸会費/租税公課/運送費/広告宣伝費/事務用品費/新聞図書費/研修研究費/旅費交通費/修繕費/保険料/募集費/消費税

資金計画

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
自己資金	389,000	35,286	216,127	525,510	679,161	552,769	690,552	648,535	716,041	797,050
税引後利益	-301,614	-109,110	61,358	144,380	-21,130	248,894	132,194	155,333	177,429	199,296
減価償却費	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	0	36,900	23,284	14,692	9,271
本部借入資金	300,000	300,000	300,000	100,000	0	0	0	0	0	0
長期借入資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	423,286	249,460	592,176	779,161	663,880	801,663	859,646	827,152	908,162	1,005,617
建築工事費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機器購入費	100,000	0	0	0	0	0	100,000	0	0	0
医務機器購入費	288,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期運転資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金返済	388,000	33,333	66,667	100,000	111,111	111,111	111,111	111,111	111,111	111,111
小計	388,000	33,333	66,667	100,000	111,111	111,111	111,111	111,111	111,111	111,111
資金過不足	35,286	216,127	525,510	679,161	552,769	690,552	648,535	716,041	797,050	894,506

本部借入金返済計画

当初借入資金

(金額単位:千円) 金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
借入金残高	300,000	300,000	266,667	233,333	200,000	166,667	133,333	100,000	66,667	33,333
借入返済額	0	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333
支払金利	6,000	6,000	5,333	4,667	4,000	3,333	2,667	2,000	1,333	667
元利合計	6,000	39,333	38,667	38,000	37,333	36,667	36,000	35,333	34,667	34,000

2年目借入資金

(金額単位:千円)

金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
借入金残高	0	300,000	266,667	233,333	200,000	166,667	133,333	100,000	66,667
借入返済額	0	0	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333
支払金利	0	6,000	6,000	5,333	4,667	4,000	3,333	2,667	2,000
元利合計	0	6,000	39,333	38,667	38,000	37,333	36,667	36,000	35,333

3年目借入資金

(金額単位:千円)

金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
借入金残高	0	300,000	266,667	233,333	200,000	166,667	133,333	100,000
借入返済額	0	0	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333
支払金利	0	6,000	6,000	5,333	4,667	4,000	3,333	2,667
元利合計	0	6,000	39,333	38,667	38,000	37,333	36,667	36,000

4年目借入資金

(金額単位:千円)

金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
借入金残高	0	0	100,000	100,000	100,000	88,889	77,778	66,667	55,556
借入返済額	0	0	0	0	11,111	11,111	11,111	11,111	11,111
支払金利	0	0	2,000	2,000	1,778	1,556	1,333	1,111	889
元利合計	0	0	2,000	2,000	13,111	12,889	12,667	12,444	12,222

借入合計

(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
借入金残高	300,000	600,000	866,667	900,000	800,000	688,889	577,778	466,667	355,556	244,444
借入返済額	0	33,333	66,667	100,000	111,111	111,111	111,111	111,111	111,111	111,111
支払金利	6,000	12,000	17,333	18,000	16,000	13,778	11,556	9,333	7,111	4,889
元利合計	6,000	45,333	84,000	118,000	127,111	124,889	122,667	120,444	118,222	116,000

減価償却(金額単位:千円)

機械器具、定率

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
減価償却	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	0	36,900	23,284	14,692	9,271

※7年目に機械器具1億円計上し5年の減価償却

◆開設計画 要件設定①(患者、人員)

病床計画

申請病床数	210
一般病床	210
療養病床	0

患者計画

一日平均	140
一般入院患者数	140
療養型入院患者数	0
計	140
一日平均	300
外床患者数	0

人員計画

法定基準数	初年度
法定医師数	21
法定看護数	80
看護補助者	29
薬剤師	0
通所リハビリ補助者	0
PT, OT	3
法定薬剤師	6
栄養士	1
又線技師	6
検査技師	7
事務、他	40
人員合計	196

人員費計画

法定基準数	初年度	月給与	年間給与	给与合計
医師	21	1,100	14	354,200
看護師	40	300	16	273,600
検査、補助	40	200	16	166,400
ハワデイカル	7	250	16	94,533
事務、他	40	220	16	139,392
人員合計	196			1,028,125
法定福利費				123,375
年間人件費合計				1,151,500

予定診療科目

内科	○	外科	○	循環器内科	○	心臓血管外科	○	脳神経外科	○	整形外科	○	形成外科	○
耳鼻咽喉科	○	歯科	○	皮膚科	○	泌尿器科	○	小児科	○	消化器内科	○	産婦人科	○
眼科	○	放射線科	○	麻酔科	○	リハビリテーション科	○		○		○		○

新看護体系 人員割合

看護基準	看護割合	看護加算	看護師割合
109看護師	80	看護割合 2.0	A
(うち准看護)	24	加算 A	B
薬剤型	29	補助者割合 5	なし
看護補助者	0	看護割合 5	看護割合比較
補助者	0	補助者割合 5	1.4:1→7:1
			2.0:1→10:1
			2.6:1→13:1
			3.0:1→15:1

法定数	医師	看護師	看護補助	薬剤師	栄養士
1	1	6	7	5	0
2	2	12	16	10	0
3	3	18	21	15	0
4	4	24	28	20	0
5	5	30	35	25	0
6	6	36	42	30	0
7	7	42	49	35	0
8	8	48	56	40	0
9	9	54	63	45	0
10	10	60	70	50	0
11	11	66	77	55	0
12	12	72	84	60	0
13	13	78	91	65	0
14	14	84	98	70	0
15	15	90	105	75	0
16	16	96	112	80	0
17	17	102	119	85	0
18	18	108	126	90	0
19	19	114	133	95	0
20	20	120	140	100	0

◆開設計画 要件設定②(土地、建物)

建物使用条件

(金額単位:千円)

(新築・取得の場合)	坪	㎡
延床面積①	8,271.83	27,345.04
建築工事費単価	746.4	225.8

取得価格	坪単価
6,383,141	771.7
6,174,000	建築工事費①
209,141	設計監理費等

(賃借の場合)	坪	㎡
延床面積②	8,271.83	27,345.04

賃借料	坪単価
267,273	32.3
22,273	2.7

賃借料	坪単価(円)	月間	年間
建物	2,693	22,273	267,273
その他	0	0	0
合計	2,693	22,273	267,273

建物の構造	敷骨造
階数	9

地下2階、地上7階

◆開設計画 要件設定③(資金・費用)

経費	㎡単価(円)	月間	年間	標準単価
水道光熱費	420	11,485	137,819	600
保守衛生費	350	9,571	114,849	500
リース料	価格	利率	月間	年間
医療機器	1,500,000	1.33	33,250	399,000

資金計画	(単位:千円)
土地	0
建物	0
機械器具	100,000
運転資金	288,000
計	388,000

※運転資金は人件費の3ヶ月分+税金・保証金等

減価償却費	取得価格	年数	初年度
建物	3,370,228	29	106,162
設備	2,712,313	15	161,111
機械器具、備品	100,000	5	36,900

借入金	返済期間	金利	据置期間
銀行①借入	0	20	2.40%

本部借入金

本部借入金	返済期間	金利	据置期間
当初借入金	300,000	10	2.00%
2年目借入金	300,000	10	2.00%
3年目借入金	300,000	10	2.00%
4年目借入金	150,000	10	2.00%
5年目借入金	0	10	2.00%

施設名 生駒市立病院 75%

土地条件

取得の場合	坪	坪単価(円)	㎡
土地面積③			
取得価格③			
造成費	49,170		

(賃借の場合)	坪	坪単価(円)	㎡
土地面積④	1,663.75		5,500.00
年間賃借料	0		
月間賃借料	0		

建設率	80%	最大延坪	1,331.0	4,400.00
容積率	400%	最大延床	6,655.0	22,000.00

土地取得税	0
建物取得税	0
保存登記税	0
移転登記税	0
抵当補給金	0
不動産手数料	0
税金等合計	0

(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
入院	140.0	161.0	177.1	186.0	195.3	205.0	205.0	205.0	205.0	205.0
1人1日診療患者数(人)	29,300	30,179	31,084	32,017	32,977	33,967	34,986	36,035	37,116	38,250
外来	300.0	360.0	432.0	496.8	546.5	573.8	596.8	614.7	627.0	633.2
1人1日診療患者数(人)	9,000	9,270	9,548	9,835	10,130	10,433	10,746	11,069	11,401	11,743
入院収入	1,497,230	1,773,469	2,009,340	2,173,102	2,350,209	2,541,751	2,618,004	2,696,544	2,777,440	2,860,764
外来収入	985,500	1,218,078	1,505,544	1,783,317	2,020,499	2,185,169	2,340,753	2,483,305	2,608,960	2,714,101
診療収入計	2,482,730	2,991,547	3,514,885	3,956,419	4,370,708	4,726,921	4,958,757	5,179,849	5,386,401	5,574,865
室料差額	8,983	10,641	12,056	13,039	14,101	15,251	15,708	16,179	16,665	17,165
文書料収入	4,965	5,983	7,030	7,913	8,741	9,454	9,918	10,360	10,773	11,150
人賃トック収入	30,000	31,500	33,075	34,729	36,465	38,288	40,203	42,213	44,324	46,540
小児科輪番体制補助金	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449
産婦人科一輪番補助金	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124
内科外科輪番制委託料	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111
保険等調整	-9,931	-11,966	-14,060	-15,826	-17,483	-18,908	-19,835	-20,719	-21,546	-22,299
収入合計	2,535,432	3,046,389	3,571,670	4,014,957	4,431,217	4,789,690	5,023,435	5,246,566	5,455,300	5,646,104
医薬品費	354,960	411,262	464,317	521,944	576,058	622,660	663,046	682,054	709,189	733,993
医薬消耗品	253,543	289,407	339,309	381,421	420,966	455,021	477,226	498,424	518,254	536,380
その他	229,848	273,535	316,445	350,928	383,668	412,504	428,983	444,714	459,430	472,881
医療機器リース料	838,352	974,205	1,120,070	1,254,294	1,380,692	1,490,184	1,559,256	1,625,191	1,686,872	1,743,255
人賃トック	199,500	399,000	399,000	399,000	399,000	399,500	399,500	399,500	399,500	399,500
人賃トック与	354,200	445,897	445,897	500,236	561,332	601,187	637,739	670,009	697,077	718,129
その他	797,300	901,514	1,020,453	1,156,324	1,283,702	1,370,733	1,441,313	1,508,480	1,561,787	1,608,952
水道光熱費	1,151,500	1,298,926	1,466,350	1,656,620	1,845,034	1,971,920	2,079,052	2,175,489	2,258,864	2,327,081
保守衛生費	137,819	144,710	151,945	159,543	167,520	175,896	184,691	193,925	203,621	213,803
その他	114,849	120,591	126,621	132,952	139,600	146,509	153,909	161,604	169,684	178,168
総費用	152,126	182,783	214,300	240,897	265,873	287,381	301,406	314,794	327,318	338,766
減価償却	404,794	448,085	492,867	533,392	572,993	609,857	640,005	670,323	700,624	730,737
計	2,594,146	3,120,215	3,478,287	3,843,306	4,197,718	4,271,461	4,477,813	4,670,503	4,845,860	5,000,573
営業利益	-2%	-2%	3%	4%	5%	11%	11%	11%	11%	11%
(償借料、減価償却費除く)	-58,714	-73,826	93,383	171,651	233,499	518,228	545,622	576,062	609,440	645,531
売店収入										
売店費用										
売店収支										
営業利益	-68,714	-73,826	93,383	171,651	233,499	518,228	545,622	576,062	609,440	645,531
土地建物賃借料										
減価償却	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	0	36,900	23,284	14,692	9,271
計	36,900	23,284	14,692	9,271	273,123	267,273	304,173	290,557	281,965	276,544
受取利息										
その他収益										
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	6,000	12,000	17,333	19,000	17,000	14,667	12,333	10,000	7,667	5,333
その他費用	200,000									
計	206,000	12,000	17,333	19,000	17,000	14,667	12,333	10,000	7,667	5,333
営業外損益合計	-206,000	-12,000	-17,333	-19,000	-17,000	-14,667	-12,333	-10,000	-7,667	-5,333
經常利益	-301,614	-109,110	61,358	143,380	-56,624	236,289	229,115	275,505	319,808	363,653
対医薬収入(%)	-11.9%	-3.6%	1.7%	3.6%	-1.3%	4.9%	4.6%	5.3%	5.9%	6.4%
法人税等	0	0	0	0	0	0	101,397	137,753	159,904	181,827
差引年間損益	-301,614	-109,110	61,358	143,380	-56,624	236,289	127,719	137,753	159,904	181,827
返済金額	0	33,333	66,667	100,000	116,667	116,667	116,667	116,667	116,667	116,667
返済原資	-264,714	-85,826	76,050	152,651	-50,774	236,289	164,619	161,037	174,596	191,098

※ 累積赤字解消まで法人税はY0

医薬原価内訳(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
医薬品費	354,960	411,262	464,317	521,944	576,058	622,660	653,046	682,054	709,189	733,993
対医薬収入(%)	14.0%	13.5%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%
医薬消耗品	253,543	289,407	339,309	381,421	420,966	455,021	477,226	498,424	518,254	536,380
(%)	10.0%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%
検査委託料	50,709	60,928	71,433	80,299	88,624	95,794	100,469	104,931	109,106	112,922
(%)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
検査材料費	25,354	30,464	35,717	40,150	44,312	47,897	50,234	52,466	54,553	56,461
(%)	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
画像診断材料費	50,709	60,928	71,433	80,299	88,624	95,794	100,469	104,931	109,106	112,922
(%)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
給食材料費	51,100	58,765	64,642	67,874	71,267	74,831	74,831	74,831	74,831	74,831
(%)	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%
基準寝具委託費	1,268	1,523	1,786	2,007	2,216	2,395	2,512	2,623	2,728	2,823
(%)	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
その他経費	50,709	60,928	71,433	80,299	88,624	95,794	100,469	104,931	109,106	112,922
(%)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
医薬原価合計	838,352	974,205	1,120,070	1,254,294	1,380,692	1,490,184	1,559,256	1,625,191	1,686,872	1,743,255
対医薬収入(%)	33.1%	32.0%	31.4%	31.2%	31.2%	31.1%	31.0%	31.0%	30.9%	30.9%

新看護体系

年間昇給率	法定福利費	新看護補助	加算
2.0%	12.0%	2.0	A
		5	

人件費内訳(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
医師	23	25	28	31	34	35	37	38	39	39
15,400	354,200	397,412	445,897	500,296	561,332	601,187	637,739	670,009	697,077	718,129
看護師	57	63	69	76	83	88	91	94	96	97
4,800	273,600	306,979	344,431	386,451	433,598	464,384	492,618	517,545	538,454	554,715
准看、補助	52	60	69	79	87	91	95	98	100	101
3,200	166,400	195,187	228,955	268,564	301,329	322,723	342,344	359,667	374,198	385,498
パラメディカル	24	27	31	36	40	42	42	42	43	43
4,000	94,533	110,888	130,071	152,573	171,187	183,342	188,879	194,583	200,459	206,513
事務、他	40	42	44	46	47	49	49	50	50	51
3,520	139,392	149,289	159,888	171,240	179,905	189,008	194,716	200,597	206,655	212,896
合計	196	217	241	267	291	305	314	322	327	330
1,028,125	1,159,755	1,309,241	1,479,125	1,647,352	1,760,643	1,856,296	1,942,401	2,016,843	2,077,751	2,127,751
法定福利費	123,375	139,171	157,109	177,495	197,682	211,277	222,756	233,088	242,021	249,330
人件費合計	1,151,500	1,298,926	1,466,350	1,656,620	1,845,034	1,971,920	2,079,052	2,175,489	2,258,864	2,327,081
対医薬収入(%)	45.4%	42.6%	41.1%	41.3%	41.6%	41.2%	41.4%	41.2%	41.4%	41.2%

医薬経費内訳(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
水道光熱費	137,819	144,710	151,945	159,543	167,520	175,896	184,691	193,925	203,621	213,803
対医薬収入(%)	5.4%	4.8%	4.3%	4.0%	3.8%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.8%
保守衛生費	114,849	120,591	126,621	132,952	139,600	146,580	153,909	161,604	169,684	178,168
対医薬収入(%)	4.5%	4.0%	3.5%	3.3%	3.2%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.2%
その他経費	152,126	182,783	214,300	240,897	265,873	287,381	301,406	314,794	327,318	338,766
対医薬収入(%)	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%
合計	404,794	448,085	492,867	533,392	572,993	609,857	640,005	670,323	700,624	730,737
対医薬収入(%)	16.0%	14.7%	13.8%	13.3%	12.9%	12.7%	12.7%	12.8%	12.8%	12.9%

* その他経費の項目
 福利厚生費/車両費/通信費/寄付金/会議費/接待交際費/消耗品費/支払手数料/調査費/雑費/被服費/
 賃借料/諸会費/租税公課/運送費/広告宣伝費/事務用品費/新聞図書費/研修研究費/旅費交通費/修繕費/保険料/募集費/消費税

資金計画

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
自己資金	388,000	35,286	216,127	525,510	728,161	560,720	680,342	628,294	672,664	730,593
税引後利益	-301,614	-109,110	61,358	143,380	-56,624	236,289	127,719	137,753	159,904	181,827
減価償却費	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	0	36,900	23,284	14,692	9,271
本部借入金	300,000	300,000	300,000	150,000	0					
長期借入金	0	0	0	0	0					
小計	423,286	249,460	592,176	828,161	677,386	797,008	844,960	789,330	847,260	921,691
建築工事費	0	0	0	0	0					
土地購入費	0	0	0	0	0					
医薬機器備品購入費	100,000						100,000			
長期運転資金	288,000									
借入金返済	0	33,333	66,667	100,000	116,667	116,667	116,667	116,667	116,667	116,667
小計	388,000	33,333	66,667	100,000	116,667	116,667	216,667	116,667	116,667	116,667
資金過不足	35,286	216,127	525,510	728,161	560,720	680,342	628,294	672,664	730,593	805,024

本部借入金返済計画

当初借入金
 (金額単位:千円) 金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
借入金残高	300,000	300,000	266,667	233,333	200,000	166,667	133,333	100,000	66,667	33,333
借入返済額	0	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333
支払金利	6,000	6,000	5,333	4,667	4,000	3,333	2,667	2,000	1,333	667
元利合計	6,000	39,333	38,667	38,000	37,333	36,667	36,000	35,333	34,667	34,000

2年目借入金

(金額単位:千円) 金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
借入金残高	0	300,000	266,667	233,333	200,000	166,667	133,333	100,000	66,667
借入返済額	0	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333
支払金利	0	6,000	5,333	4,667	4,000	3,333	2,667	2,000	1,333
元利合計	0	6,000	38,667	38,000	37,333	36,667	36,000	35,333	34,667

3年目借入金

(金額単位:千円) 金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
借入金残高	0	300,000	266,667	233,333	200,000	166,667	133,333	100,000
借入返済額	0	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333
支払金利	0	6,000	5,333	4,667	4,000	3,333	2,667	2,000
元利合計	0	6,000	38,667	38,000	37,333	36,667	36,000	35,333

4年目借入金

(金額単位:千円) 金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
借入金残高	0	0	150,000	133,333	116,667	100,000	83,333
借入返済額	0	0	16,667	16,667	16,667	16,667	16,667
支払金利	0	0	3,000	2,667	2,333	2,000	1,667
元利合計	0	0	3,000	19,667	19,333	18,667	18,333

借入合計

(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
借入金残高	300,000	600,000	866,667	950,000	850,000	733,333	616,667	500,000	383,333	266,667
借入返済額	0	33,333	66,667	100,000	116,667	116,667	116,667	116,667	116,667	116,667
支払金利	6,000	12,000	17,333	19,000	17,000	14,667	12,333	10,000	7,667	5,333
元利合計	6,000	45,333	84,000	119,000	133,667	131,333	129,000	126,667	124,333	122,000

減価償却(金額単位:千円)

※7年目に機械器具1億円計とし5年の減価償却

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
機械器具、定率	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	0	36,900	23,284	14,692	9,271

◆開設計画 要件設定①(患者、人員)

病床計画

申請病床数	210
一般病床	210
療養病床	0

患者計画	140
一日平均	140
一般入院患者数	0
療養型入院患者数	140
計	140
一日平均	300
外来患者数	0

予定診療科目

内科	外科	循環器内科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科
○	○	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科	歯科	口腔外科	泌尿器科	小児科	消化器内科	産婦人科
眼科	放射線科	○	皮膚科	○	○	○
○	○	○	リハビリテーション科	○	○	○

新看護体系 人員割合

看護師	看護割合	看護基準	看護加算	看護師割合
109	80	看護割合	2.0	A
	24	加算	A	B
	29	補助者割合	5	なし
0	看護割合	看護割合	5	看護割合比較
	補助者	補助者割合	5	1.4:1→7:1
				2.0:1→10:1
				2.6:1→13:1
				3.0:1→15:1

外来処方箋 210 (外来×70%)

法定医師数	1
1 事務長	1
12 総務	12
16 医事	16
5 補助他	5
0 運転手兼	0
6 調理厨房(常勤換算)	6

人員費計画

法定基準数 初年度 月給与 年間月数 年間給与 給与合計 (単位:千円)

医師	21	23	1,100	14	15,400	354,200
看護師	40	57	300	16	4,800	273,600
准看、補助	40	52	200	16	3,200	166,400
パティシヤル	7	24	250	16	4,000	94,533
事務、他		40	220	16	3,520	139,392
人員合計		196			1,028,125	1,151,500
法定福利費					12%	123,375
年間人件費合計						1,151,500

◆開設計画 要件設定②(土地、建物)

建物使用条件

(金額単位:千円)

(新築・取得の場合)	坪	㎡	取得価格	坪単価
延床面積①	8,271.83	27,345.04	7,206,141	871.2
建築工事費単価	845.9	255.9	6,997,000	建築工事費①
			209,141	設計監理費等

(賃借の場合)	坪	㎡	賃借料	坪単価
延床面積②	8,271.83	27,345.04	301,813	36.5
			25,151	3.0

賃借料	坪単価(円)	月間	年間
建物	3,041	25,151	301,813
その他	0	0	0
合計	3,041	25,151	301,813

建物の構造	鉄骨造
階数	9

地下2階、地上7階

◆開設計画 要件設定③(資金・費用)

経費	㎡単価(円)	月間	年間	標準単価
水道光熱費	420	11,485	137,819	600
保守衛生費	350	9,571	114,849	500
リース料	価格	利率	月間	年間
医療機器	1,500,000	1.33	33,250	399,000

資金計画	(単位:千円)
土地	0
建物	0
機械器具	100,000
運転資金	288,000
計	388,000

※運転資金は人件費の3ヶ月分+税金・保証金等

減価償却費	取得価格	年数	初年度	定額法
建物	3,801,428	29	119,745	定額法
設備	3,065,113	15	182,068	定額法(徳洲会は通常定率法を使用)
機械器具、備品	100,000	5	36,900	定率法

借入金	返済期間	金利	据置期間
銀行①借入	0	20	2.40%

本部借入資金 返済期間 金利 据置期間

当月初借入資金	300,000	10	2.00%
2年目借入資金	300,000	10	2.00%
3年目借入資金	300,000	10	2.00%
4年目借入資金	270,000	10	2.00%
5年目借入資金	0	10	2.00%

土地条件

(金額単位:千円)

取得の場合	坪	坪単価(円)
土地面積③		
取得価格③		
造成費	49,170	

(賃借の場合)	坪	坪単価(円)
土地面積④	1,663.75	5,500.00
年間賃借料	0	
月間賃借料	0	

建設率	80%	最大建坪	1,331.0	4,400.00
容積率	400%	最大延床	6,655.0	22,000.00

土地取得税	0
建物取得税	0
保存登記税	0
移転登記税	0
抵当権設定費	0
不動産手数料	0
税金等合計	0

施設名 生駒市立病院 85%

收支計画表

建築工事費8,232,000千円×請負率85%

生駒市立病院

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
入院	140.0	161.0	177.1	186.0	195.3	205.0	205.0	205.0	205.0	205.0
外来	29,300	30,179	31,084	32,017	32,977	33,967	34,986	36,035	37,116	38,230
診療収入	9,000	9,270	9,548	9,835	10,130	10,433	10,746	11,069	11,401	11,743
入院収入	1,497,230	1,773,469	2,009,340	2,173,102	2,350,209	2,541,751	2,618,004	2,696,544	2,777,440	2,860,764
外来収入	985,500	1,218,078	1,505,544	1,783,317	2,020,499	2,185,169	2,340,753	2,483,305	2,608,960	2,714,101
診療収入計	2,482,730	2,991,547	3,514,885	3,956,419	4,370,708	4,726,921	4,958,757	5,179,849	5,386,401	5,574,865
室料差額	8,983	10,641	12,056	13,039	14,101	15,251	15,708	16,179	16,665	17,165
文書料収入	4,965	5,983	7,030	7,913	8,741	9,454	9,918	10,360	10,773	11,150
人間ドック収入	30,000	31,500	33,075	34,729	36,465	38,288	40,203	42,216	44,324	46,540
小児科輸送補助金	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449
産婦人科一斉輸送補助金	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124	6,124
内科外科輸送委託料	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111
係数等調整	-9,931	-11,966	-14,060	-15,826	-17,483	-18,908	-19,835	-20,719	-21,546	-22,299
収入合計	2,535,432	3,046,389	3,571,670	4,014,957	4,431,217	4,789,690	5,023,435	5,246,566	5,455,300	5,646,104
医薬品費	354,960	411,262	464,317	521,944	576,068	622,660	653,046	682,054	709,189	733,993
医薬消耗品	253,543	289,407	339,309	381,421	420,966	455,021	477,226	498,424	518,254	536,380
原価	229,848	273,535	316,445	350,928	383,668	412,504	428,983	444,714	459,430	472,881
計	838,352	974,205	1,120,070	1,254,294	1,380,692	1,490,184	1,559,256	1,625,191	1,686,872	1,743,255
医療機器リース料	199,500	399,000	399,000	399,000	399,000	399,000	399,500	399,500	399,500	399,500
人件費	354,200	397,412	445,897	500,296	561,332	601,187	637,739	670,009	697,077	718,129
その他	797,300	901,514	1,020,453	1,156,324	1,283,702	1,370,733	1,441,313	1,505,480	1,561,787	1,608,952
計	1,151,500	1,298,926	1,466,350	1,656,620	1,845,034	1,971,920	2,079,052	2,175,489	2,258,864	2,327,081
水道光熱費	137,819	144,710	151,945	159,543	167,520	175,896	184,691	193,925	203,621	213,803
保守衛生費	114,849	120,591	126,621	132,952	139,604	146,580	153,909	161,604	171,168	178,168
その他	152,126	182,783	214,300	240,897	265,873	287,381	301,406	314,794	327,318	338,766
計	404,794	448,085	492,867	533,392	572,993	609,857	640,005	670,323	700,624	730,737
費用合計	2,594,146	3,120,215	3,478,287	3,843,306	4,197,718	4,271,461	4,477,813	4,670,503	4,845,860	5,000,573
減価償却費除く	-2%	-2%	3%	4%	5%	11%	11%	11%	11%	11%
売店収入	-58,714	-73,826	93,383	171,651	233,499	518,228	545,622	576,062	609,440	645,531
売店費用										
計	-58,714	-73,826	93,383	171,651	233,499	518,228	545,622	576,062	609,440	645,531
営業利益	-58,714	-73,826	93,383	171,651	233,499	518,228	545,622	576,062	609,440	645,531
土地建物賃借料										
その他	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	301,813	301,813	301,813	301,813	301,813
費用	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	301,813	301,813	301,813	301,813	301,813
計	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	301,813	301,813	301,813	301,813	301,813
受取利息										
その他収益										
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	6,000	12,000	17,333	21,400	19,400	16,800	14,200	11,600	9,000	6,400
その他費用	200,000	206,000	17,333	21,400	19,400	16,800	14,200	11,600	9,000	6,400
計	206,000	218,000	34,666	42,800	38,800	33,600	28,400	23,200	18,000	12,800
営業外損益合計	-206,000	-12,000	-17,333	-21,400	-19,400	-16,800	-14,200	-11,600	-9,000	-6,400
経常利益	-301,614	-109,110	61,358	140,980	-93,564	199,615	338,713	325,097	283,935	328,047
対営業収入(%)	-11.9%	-3.6%	1.7%	3.5%	-2.1%	4.2%	3.8%	4.6%	5.2%	5.8%
法人税等	0	0	0	0	0	45,187	119,683	141,968	141,968	164,023
差引年間損益	-301,614	-109,110	61,358	140,980	-93,564	199,615	338,713	325,097	283,935	328,047
※ 累積赤字解消まで法人税は0										
返済金額	0	33,333	66,667	100,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
返済原資	-264,714	-85,826	76,050	150,251	-87,714	184,422	142,967	156,660	173,294	173,294

医薬原価内訳(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
医薬品費	354,960	411,262	464,317	521,944	576,058	622,660	653,046	682,054	709,189	733,993
対医薬収入(%)	14.0%	13.5%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%
医薬消耗品	253,543	289,407	339,309	381,421	420,966	455,021	477,226	498,424	518,254	536,380
(%)	10.0%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%
検査委託料	50,709	60,928	71,433	80,299	88,624	95,794	100,469	104,931	109,106	112,922
(%)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
検査材料費	25,354	30,464	35,717	40,150	44,312	47,897	50,234	52,466	54,553	56,461
(%)	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
画像診断材料費	50,709	60,928	71,433	80,299	88,624	95,794	100,469	104,931	109,106	112,922
(%)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
給食材料費	51,100	58,765	64,642	67,874	71,267	74,831	74,831	74,831	74,831	74,831
(%)	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%
基準器具委託費	1,268	1,523	1,786	2,007	2,216	2,395	2,512	2,623	2,728	2,823
(%)	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
その他経費	50,709	60,928	71,433	80,299	88,624	95,794	100,469	104,931	109,106	112,922
(%)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
医薬原価合計	838,352	974,205	1,120,070	1,254,294	1,380,692	1,490,184	1,559,256	1,625,191	1,686,872	1,743,255
対医薬収入(%)	33.1%	32.0%	31.4%	31.2%	31.2%	31.1%	31.0%	31.0%	30.9%	30.9%

新看護体系

新看護補助	2.0	加算
	5	A

人件費内訳(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
医師	23	25	28	31	34	35	37	38	39	39
15,400	354,200	397,412	445,897	500,296	561,332	601,187	637,739	670,009	697,077	718,129
看護師	57	63	69	76	83	88	91	94	96	97
4,800	273,600	306,979	344,431	386,451	433,598	464,384	492,618	517,545	538,454	554,715
准看、補助	52	60	69	79	87	91	95	98	100	101
3,200	166,400	195,187	228,955	268,564	301,329	322,723	342,344	359,667	374,198	385,498
ハワテ・イナル	24	27	31	36	40	42	42	42	43	43
4,000	94,533	110,888	130,071	152,573	171,187	183,342	188,879	194,583	200,459	206,513
事務、他	40	42	44	46	47	49	49	50	50	51
3,520	139,392	149,289	159,888	171,240	179,905	189,008	194,716	200,597	206,655	212,896
合計	196	217	241	267	291	305	314	322	327	330
1,028,125	1,159,755	1,309,241	1,479,125	1,647,352	1,760,643	1,856,296	1,942,401	2,016,843	2,077,751	2,128,996
法定福利費	123,375	139,171	157,109	177,495	197,682	211,277	222,756	233,088	242,021	249,330
人件費合計	1,151,500	1,298,926	1,466,350	1,656,620	1,845,034	1,971,920	2,079,052	2,175,489	2,258,864	2,327,081
対医薬収入(%)	45.4%	42.6%	41.1%	41.3%	41.6%	41.2%	41.4%	41.5%	41.4%	41.2%

医薬経費内訳(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
水道光熱費	137,819	144,710	151,945	159,543	167,520	175,896	184,691	193,925	203,621	213,803
対医薬収入(%)	5.4%	4.8%	4.3%	4.0%	3.8%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.8%
保守衛生費	114,849	120,591	126,621	132,952	139,600	146,580	153,909	161,604	169,684	178,168
対医薬収入(%)	4.5%	4.0%	3.5%	3.3%	3.2%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.2%
その他経費	152,126	182,783	214,300	240,897	265,873	287,381	301,406	314,794	327,318	338,766
対医薬収入(%)	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%
合計	404,794	448,085	492,867	533,392	572,993	609,857	640,005	670,323	700,624	730,737
対医薬収入(%)	16.0%	14.7%	13.8%	13.3%	12.9%	12.7%	12.7%	12.8%	12.8%	12.9%

* その他経費の項目
 福利厚生費/車両費/通信費/寄付金/会議費/接待交際費/消耗品費/支払手数料/調査費/雑費/被服費/
 賃借料/諸会費/租税公課/運送費/広告宣伝費/事務用品費/新聞図書費/研修図書費/研究費/旅費交通費/修繕費/保険料/募集費/消費税

資金計画

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
自己資金	388,000	35,286	216,127	525,510	845,761	628,046	697,662	652,084	665,050	691,710
税引後利益	-301,614	-109,110	61,358	140,980	-93,664	199,615	147,522	119,683	141,968	164,023
減価償却費	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	0	36,900	23,284	14,692	9,271
本部借入資金	300,000	300,000	300,000	270,000	0					
長期借入資金	0	0	0	0	0					
小計	423,286	249,460	592,176	945,761	758,046	827,662	882,084	795,060	821,710	865,004
建築工事費	0	0								
土地購入費	0	0								
生産機器備品購入費	100,000						100,000			
長期運転資金	288,000									
借入金返済	0	33,333	66,667	100,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
小計	388,000	33,333	66,667	100,000	130,000	130,000	230,000	130,000	130,000	130,000
資金過不足	35,286	216,127	525,510	845,761	628,046	697,662	652,084	665,060	691,710	735,004

本部借入金返済計画

当初借入資金

(金額単位:千円)

金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
借入金残高	300,000	300,000	266,667	233,333	200,000	166,667	133,333	100,000	66,667	33,333
借入返済額	0	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333
支払金利	6,000	6,000	5,333	4,667	4,000	3,333	2,667	2,000	1,333	667
元利合計	6,000	39,333	38,667	38,000	37,333	36,667	36,000	35,333	34,667	34,000

2年目借入資金

(金額単位:千円)

金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
借入金残高	0	300,000	266,667	233,333	200,000	166,667	133,333	100,000	66,667
借入返済額	0	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333
支払金利	0	6,000	5,333	4,667	4,000	3,333	2,667	2,000	1,333
元利合計	0	39,333	38,667	38,000	37,333	36,667	36,000	35,333	34,667

3年目借入資金

(金額単位:千円)

金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
借入金残高	0	300,000	266,667	233,333	200,000	166,667	133,333	100,000
借入返済額	0	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333	33,333
支払金利	0	6,000	5,333	4,667	4,000	3,333	2,667	2,000
元利合計	0	39,333	38,667	38,000	37,333	36,667	36,000	35,333

4年目借入資金

(金額単位:千円)

金利:2.00%、据置期間:1年、返済期間:9年

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
借入金残高	0	0	270,000	240,000	210,000	180,000	150,000
借入返済額	0	0	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
支払金利	0	0	5,400	4,800	4,200	3,600	3,000
元利合計	0	0	35,400	34,800	34,200	33,600	33,000

借入合計

(金額単位:千円)

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
借入金残高	300,000	600,000	866,667	1,070,000	970,000	840,000	710,000	580,000	450,000	320,000
借入返済額	0	33,333	66,667	100,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
支払金利	6,000	12,000	17,333	21,400	19,400	16,800	14,200	11,600	9,000	6,400
元利合計	6,000	45,333	84,000	121,400	149,400	146,800	144,200	141,600	139,000	136,400

減価償却(金額単位:千円)

※7年目に機械器具1億円計上し5年の減価償却

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
機械器具、定率	36,900	23,284	14,692	9,271	5,850	0	36,900	23,284	14,692	9,271

